

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略1. 自立した“ちば”共創都市圏で、わたしたちが果たす役割の追求

（単位：千円）

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
「千葉氏」ゆかりの都市との連携強化	「千葉氏」ゆかりの都市の首長を招待して開催する「千葉氏サミット」などを通じて、関連都市間の相互交流を図り、本市のアイデンティティ確立につなげる。	・第2回千葉氏サミット開催 ・親子三代夏祭り会場での「千葉氏ブース」出展 ・都市間連携調整	・千葉の親子三代夏祭り会場での「千葉氏ブース」出展 ・都市間連携調整 ・台風15号等における都市間の物資等の支援	・都市間連携調整	1,124	1,245	都市アイデンティティ推進課 文化財課
幕張新都心拡大地区の新駅整備	幕張新都心の交通機能の強化や分散化を図るため、JR京葉線新駅設置を進める。	基本調査で示された概要に基づき、経済性や施工性などを考慮した工法や仕様などの比較検討を行い、より精度の高い工事費や工期等を算出するための概略設計を、JRに依頼。	令和5年度末の開業を目指し、詳細設計と工事を一本化した施行協定を締結。詳細設計を実施する。	令和5年度末の開業を目指し、詳細設計と工事を一本化した施行協定（令和元年8月締結）に基づき、詳細設計を進めながら事業費縮減及び早期開業に向けてJR東日本と協議・調整する。	23	227,000	交通政策課
子ども・子育て支援環境の整備に係る市原市・四街道市との広域連携	圏域全体の定住促進や女性の社会進出の促進に向け、圏域内における子ども・子育て支援環境の整備について、保育所等の共同整備、管外保育入所の拡充などで連携していくとともに、一時預かり・ファミリーサポートなどの子育て支援事業の相互利用を行う。	【幼保支援課】 市原市ちはら台地区に保育所を共同整備する（H31.4.1開所）。 千葉市定員枠 3人 （子ども・子育て支援新制度給付対象施設の整備の中にも計上） 【幼保運営課】 （一時預かり） 新規開設園、既存実施園で新たに市原市、四街道市の児童を受け入れる意向がある園については受け入れを積極的に行わせ順次拡大を図る。	【幼保支援課】 （保育所の共同整備） 1か所（市原市ちはら台地区 H31.4開園） （ファミリーサポートセンター） 相互利用の周知を図った。 【幼保運営課】 （管外保育） 3市間相互の管外保育について「勤務先がある」等の要件を満たさなくとも申請を可能とし、他の2市の空き施設の情報提供を行う。 （一時預かり） 新規開設園、既存実施園で新たに市原市、四街道市の児童を受け入れる意向がある園については受け入れを積極的に行わせ順次拡大を図る。	【幼保支援課】 （ファミリーサポートセンター） 相互利用の周知を図る。対応可能であれば、積極的に活動を実施する。 【幼保運営課】 （管外保育） 3市間相互の管外保育について「勤務先がある」等の要件を満たさなくとも申請を可能とし、他の2市の空き施設の情報提供を行う。 （一時預かり） 新規開設園、既存実施園で新たに市原市、四街道市の児童を受け入れる意向がある園については受け入れを積極的に行わせ順次拡大を図る。	176,108	220,853	こども企画課 幼保運営課 幼保支援課
合同企業説明会の共同開催	就職活動前の大学生・留学生を対象に、地元企業との直接対話によるマッチング機会を設け、インターンシップまで誘導することにより、将来の雇用のミスマッチの解消に努める。平成28年度から、千葉経済圏連携推進会議により、市原市、四街道市と共催。参加企業に近隣市内企業を迎え、広域エリアでの企業情報の提供を行っている。	市原市・四街道市と協働し、大学3年生と域内企業のインターンシップのマッチングを図る合同企業説明会を開催した。	市原市・四街道市と協働し、大学3年生と域内企業のインターンシップのマッチングを図る合同企業説明会を開催した。 開催日 令和元年11月17日（日）13:00～17:00 会場 ペリエ千葉ペリエホール 参加企業 31社 参加学生 64人 インターンシップ申込 26社・78件 インターンシップ実施 23社・61件	市原市・四街道市と協働し、大学3年生と域内企業のインターンシップのマッチングを図る合同企業説明会を開催する。 目標企業数 30社以上 目標学生数 100人程度	3,843	3,900	雇用推進課
ちばっ子商人（あきんど）育成スクール	小中高校生を対象に、将来の職業選択の一つとして自ら起業することを意識づけるため、大学や企業などと連携して、実体験により経済の仕組みを学ぶことができる講座を開催する。一部のプランで、市原市・四街道市の児童・生徒が参加可能となっている。	参加者数：1,025名 【内訳】 西千葉子ども起業塾 参加者：26名 中学生のための起業体験講座 参加者：4名 幕張新都心ビジネススクール 定員：10名 夏休みおしごと感動体験 参加者：985名	参加者数：1,018名 【内訳】 西千葉子ども起業塾 参加者：32名 中学生向け起業体験講座（軒先珈琲カフェ起業体験講座） 参加者：20名 幕張新都心ビジネススクール 参加者：7名 夏休みおしごと感動体験 参加者：959名	参加者数：1,080名程度 【内訳】 西千葉子ども起業塾 定員：20名程度 中学生向け起業体験講座（新規） 定員：20名程度 幕張新都心ビジネススクール 定員：30名程度 夏休みおしごと感動体験 定員：1,000名程度	1,421	3,000	雇用推進課
産業育成の推進	連携する都市間（市原市・四街道市）で創業に関するセミナーや相談窓口の相互利用を図るなど、支援策の効率化を図る。また、圏域内の事業者による連携・交流の場を創出し、新事業の創出や域内取引の拡大を促進する。	実行件数 1,945件 実行金額 36,704,054千円	市内中小企業の経営安定を図るため、必要な事業資金を融資する。	市内中小企業の経営安定を図るため、必要な事業資金を融資する。	25,494,436	21,079,038	産業支援課
圏域としての企業誘致の推進	圏域の経済振興、雇用創出を推進するため、圏域全体としての企業立地の優位性を発信するとともに、連携する都市（市原市・四街道市）と人材の育成・確保や産学連携面での活動を強化し、圏域における立地した企業の定着を図る。	引き続き、 ・圏域の取組について、 都内等に立地する企業に対して発信する：600回程度 ・セミナー、ツアー等の実施 企業立地セミナー：1回 工業団地バスツアー：1回 オフィスビル合同内覧会：1回	都内等に立地する企業に対する発信：600回程度 ・セミナー、ツアー等の実施 企業立地セミナー：1回（中止） 工業団地バスツアー：1回 オフィスビル合同内覧会：1回	引き続き、 都内等に立地する企業に対して発信する：600回程度 ・セミナー、ツアー等の実施 企業立地セミナー：1回 工業団地バスツアー：1回 オフィスビル合同内覧会：1回	—	—	企業立地課
産業まつりの相互出展	地域の魅力や価値の向上、地産地消の推進、地域産業の振興、集客交流の拡大を図るため千葉湊大漁まつり（千葉市民産業まつり）を開催し、市原市・四街道市との相互出展を行う。	千葉湊大漁まつりでは市原市、四街道市が出展し、2市のまつりでは千葉市が出展を行う。	千葉市の千葉湊大漁まつり、市原市の上総いちばら国府まつり、四街道市の四街道市産業まつりで3市が相互出展を行った。	千葉市の千葉湊大漁まつり、市原市の上総いちばら国府まつり、四街道市の四街道市産業まつりで3市が相互出展を行う予定。	5,000	5,000	観光MICE企画課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略1. 自立した“ちば”共創都市圏で、わたしたちが果たす役割の追求

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
グリーンツーリズムの推進	「緑」「里」「農」をキーワードとする農業体験や観光資源を活用した滞在型余暇活動の促進を図るため、特区民泊施設の環境整備の助成を行うとともに、外部人材による戦略的な集客プロモーションを推進する。	・特区民泊施設の環境整備補助1件 ・グリーンガイドブック「みどりとあそび」発行 ・エリアマーケット調査実施	・地域プロモーション（情報発信） ・地域連携モニターツアー ・里山サイクリングマップ更新 ・市内産農産物を提供する移動販売誘致に関する調査	・エリアブランディング及びPR ・地域連携プロモーション（情報発信） ・民泊施設への観光情報提供	19,201	18,000	観光プロモーション課
既存の観光戦略の“ちば”共創都市圏への拡大推進	市原市など都市圏を構成する周辺の市町村の観光経済上の課題を共有し、観光交流人口増に向けての共同PRで、スケールメリットを獲得する。また、互いの強み弱みを補う補完体制を整え、新たな観光の魅力創出を実施する。	市内の「海、里、まち」を満喫できるプランを紹介した季刊の無料誌「千葉あそび」に、市原市・四街道市のプランを掲載し、交流人口の増加を図る。昨年度に引き続き市原市・四街道市と連携して実施。	体験型観光プラン集「千葉あそび」の造成運営 ・年3号発行/25,000部 ・1号あたり2市1～2プランの造成・掲載 ・3市担当及び主催者による説明会・反省会の実施/計6回	体験型観光プラン集「千葉あそび」の造成運営 ・年2号発行/30,000部 ・1号あたり2市1～2プランの造成・掲載 ・3市担当及び主催者による説明会の実施	10,000	10,000	観光プロモーション課
夜景観光推進	工場夜景を観光資源として活用する都市が連携し、各地の工場夜景を盛り上げ、地域経済の活性化、賑わいの創出につなげていく。	海側からしか鑑賞できない京葉工業地帯の工場夜景を観光資源として活用するため、全国工場夜景都市協議会に加盟し、加盟都市と広域連携を図りながら、情報発信、観光客の誘致及び滞在型・着地型観光の推進に取り組む。	・全国工場夜景都市協議会（11都市）を組織し、共同事業による広域的な取組の充実 ・全国工場夜景サミットの堺市・高石市での開催/1回 ・体験型観光プラン「千葉あそび」を通じたプラン造成促進/年3プラン	・全国工場夜景都市協議会（12都市）を組織し、共同事業による広域的な取組の充実 ・全国工場夜景サミットの周南市での開催/1回 ・工場夜景鑑賞ツアーの促進 ・体験型観光プラン「千葉あそび」を通じたプラン造成促進/年2プラン	149	2,000	観光プロモーション課
企業との連携協定の枠組みを活用した地域連携	“ちば”共創都市圏において、広域的に経営資源を有する企業と連携協定を締結して事業を実施することにより、圏内における地域課題の解決を図る。	㈱セブンイレブン・ジャパンや㈱イトーヨーカ堂など、セブン&アイグループ6社と、千葉市・市原市・四街道市にて包括広域連携協定を締結（平成30年7月）。本協定に基づき、以下の広域連携にかかる取組みを実施した。 ○平成30年9月 ・3市内のイトーヨーカドー店舗にて、地域産品フェアを実施。 ・そごう千葉店にて、3市の産品を取り扱うフェアを実施。 ○平成30年11月 ・千葉県内のセブンイレブンにて、連携協定の締結を記念した商品（弁当、プリン）を発売	「地域産品フェア」の実施 ・開催日：9月4日～9月8日 ・実施場所：3市内のイトーヨーカドー5店舗 ・3市の農産品・加工品の販売のほか、観光等のパンフレットを配架	3市連携地域産品フェアの開催 ・開催日：10月14日～10月18日（予定） ・実施場所：イトーヨーカドー幕張店 その他のグループ各社とも、連携事業について協議、調整していく。	—	—	経済企画課
広域連携施策の検討	「ちば共創都市圏」における広域連携施策について検討を実施する。	総務省が実施する「新たな広域連携促進事業」の委託を受け、市原市、茂原市、大網白里市、東金市と連携し、「人を育てる」「人を呼び込む」「人をとどめる」をテーマに、圏域内における産業人材育成、企業立地促進等について、調査及び今後の展開施策の検討等を行った。	平成30年度「新たな広域連携促進事業」の調査や施策の検討結果を踏まえ、産業人材育成・企業立地促進等について、構成市で具体的な連携について協議・検討を行った。また、「公共施設の相互利用」についての検討を開始した。	「企業の紹介パンフレット作成事業」「企業間のマッチング支援事業」について連携を開始するほか、必要に応じてさらなる連携施策を検討する。また、「公共施設の相互利用」について検討を進める。	0	4,000	政策調整課
地域ポイント制度	市民公益活動及び健康維持・増進活動の促進のため、民間と連携した利便性の高い地域ポイント制度の導入に向けた実証実験を行う。	民間企業と連携し、平成30年7月に実証実験を実施。	対象事業の拡充、八千代市との共同実施開始などにより、より多くの方が参加しやすい制度とした。	引き続き参加者及びポイント流通量の増加を図る。併せて、効果検証を行った上で、今後の実施方法について検討する。	23,958	32,800	政策調整課
【新規】技術職・技能職の啓発冊子作成	技術職・技能職魅力啓発冊子を作成し、配布することで、早い段階から、ものづくり企業などの技術・技能職を選択肢の一つのとして認識させ、将来の有為な産業人材の育成を見込む。	—	—	技術職・技能職魅力啓発冊子を作成し、配布する。（千葉市・市原市・四街道市・茂原市）	—	4,800	雇用推進課 企業立地課
【新規】企業間マッチング支援	「ちば共創都市圏」に立地している既存企業のマッチングによる交流を図り、圏域全体の経済活性化を図る。	—	—	企業間のマッチングイベント開催 1回	—	527	企業立地課

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
市内産品の競争力強化	市内産品の付加価値を高め競争力強化を図るため、事業者・生産者の個別支援やプロモーション活動を行う。	1 生産者・事業者の支援ニーズに基づく販路拡大 ・生産者・事業者へのヒアリング ・バイヤーなどとのマッチング ・受賞者等を中心としたカタログ（バイヤーズガイド）を作成 2 催事出店助成 市外で開催される催事などの出店に要する経費を助成 4件	1 食のブランド化推進事業 (1) 現状分析 (2) 販路拡大支援 首都圏テストマーケティング 2回 首都圏の小売り・卸とのマッチング 3件 (3) 戦略策定のための検討会議、勉強会の実施 検討会議 4回実施 勉強会 4回実施 (4) ブランド戦略の策定、提言 3 催事出店補助（産業支援課から移管）1件	1 食のブランド化推進事業 (1) 千葉市「食のブランド」認定事務局運営 ブランド認定件数 20～30件目標（検討中） (2) 販路拡大支援 (3) 千葉市「食のブランド」プロモーション 2 催事出店支援補助 5件	10,900	15,000	農政課
産業用地整備支援	市内で枯渇しつつある産業用地を早期に確保するため、周辺インフラ整備に係る費用について建設負担金による支援を行う。	造成工事の完了の後、建設負担金の支払いを行う。 2019年12月の完成へ向け、造成工事を行った。 また、並行して企業誘致を進めた。 審査会開催 2回	新たな産業用地確保に向けた基礎調査などを行った。 インフラ整備への建築負担金の交付 産業用地確保に係る基礎調査の実施 交通量調査の実施 審査会 2回	ネクストコア千葉菅田の企業誘致状況報告及び、新たな産業用地の適地、整備手法等について検討を行う。 審査会開催 4回	1,017,432	476	企業立地課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

(単位：千円)

施策(1) 企業立地の一層の促進と、競争力のある産業集積の形成							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
企業立地促進	税源涵養や雇用創出を図るため、先端技術のドローン関連産業をはじめとした今後成長が見込まれる幅広い産業を対象に、企業の立地や立地後の追加投資などに対する助成を行う。	同補助制度を最大限活用し、立地を推進した。 認定件数 25件	同補助制度を最大限活用し、立地を推進した。 認定件数 28件	引き続き、同補助制度を最大限活用し、立地を推進していく。 認定件数 25件程度	877,516	989,936	企業立地課
企業立地促進融資制度	市内への更なる立地を促進するため、立地企業の設備投資に必要な資金について、長期・低利・固定金利での有利な資金調達手段を提供する	引き続き、同融資制度を最大限活用し、立地を推進した。 融資件数 5件	同融資制度を最大限活用し、立地を推進した 融資件数 3件	引き続き、同融資制度を最大限活用し、立地を推進していく 融資予定件数 3件程度	2,210,336	3,561,692	企業立地課
中小企業の人材育成研修費助成	市内中小企業の活性化や産業振興につながる「人材づくり」を促進するため、ポリテクセンター等が実施する研修をはじめ、従業員などが業務に必要な技術、技能、知識の習得に向けて各種研修制度を利用した場合に、その経費の一部を助成する。	要綱改正により、対象講座を追加し、申請回数を無制限にして利便性を高めたため、更なる周知を図り、制度利用を促進して、市内中小企業の人材育成を支援した。 件数：29件	要綱改正により補助対象の拡充を図った。 【要綱改正の内容（H31年度～）】 ・補助対象者の拡充 ⇒市内の共同団体（企業団体など）を追加 ※～H30年度までは「市内中小企業者」のみ ・補助対象となる研修を拡充（補助対象者：市内中小企業者） ⇒千葉県職業能力開発協会の実施する講座を追加  【令和元年度の実績】 ・補助対象：中小企業者…27社 ・補助対象：共同団体…1団体	市内中小企業者、共同団体の利用促進に向け、関係機関と連携し事業の周知を図る。 補助金の利用ニーズを把握するため、企業向けにアンケートを実施する。  【令和2年度の予定】※予算の内訳 ・補助対象：中小企業者…30社×50千円＝1,500千円 ・補助対象：共同団体…5団体×100千円＝500千円	2,000	2,000	雇用推進課
中小・小規模事業者ニーズ対応型支援	販路開拓や新製品開発等、個々の事業者のニーズに柔軟に対応し、（公財）千葉市産業振興財団のコーディネーターのノウハウを最大限に活かした支援を行うことにより、中小・小規模事業者の経営強化を促し、市内経済の活性化や雇用の向上を図る。	事業者・創業者が抱える経営課題や法律問題について、専門家等による相談を行い、事業経営の円滑化を支援した。 また、財団に登録された各分野の専門家を事業所に派遣し、問題解決のためのアドバイスや技術指導などを行った。	事業者・創業者が抱える経営課題や法律問題について、専門家等による相談を行い、事業経営の円滑化を支援する。 また、財団に登録された各分野の専門家を事業所に派遣し、問題解決のためのアドバイスや技術指導などを行う。	事業者・創業者が抱える経営課題や法律問題について、専門家等による相談を行い、事業経営の円滑化を支援する。 また、財団に登録された各分野の専門家を事業所に派遣し、問題解決のためのアドバイスや技術指導などを行う。	9,872	10,029	産業支援課
中小企業の事業継続支援	中小企業の経営上の課題解決に向け、事業承継講座を実施するとともに、事業継続に向けた支援を行う。	【セミナー開催】 事業承継セミナー：平成30年9月14日 参加者22名 事業承継ゼミナール：平成30年12月14日 参加者5名 BCPセミナー：平成30年10月4日 参加者3名 【事業継続支援助成】 0件	事業承継計画又は事業継続計画を策定する企業に対し、企業診断・課題分析・計画策定等に要する経費に対する助成を行うほか、事業承継を控える二世人材に対する支援講座を新規で実施する。 また、商工会議所や事業引継ぎ支援センター等と情報を共有し、企業ごとの状況やニーズにきめ細かに対応し、円滑な承継を促す。 事業継続支援助成：2件、830千円 セミナー：10月10日開催（12名参加）	事業承継計画又は事業継続計画を策定する企業に対し、企業診断・課題分析・計画策定等に要する経費に対する助成を行うほか、事業承継に関する入門編のセミナーを実施することで、事業承継に関する認知度を高めていく。 また、商工会議所や事業引継ぎ支援センター等と情報を共有し、企業ごとの状況やニーズにきめ細かに対応し、円滑な承継を促す。	830	2,500	産業支援課
商学連携型商品開発	大学等と商業団体との連携による商品開発費の経費を助成し、商品の付加価値を高め消費を促す。	大学等と商業団体との連携による商品開発の経費を助成した。 【助成内容】補助率1/2 上限20万円 1件	大学等と商業団体との連携による商品開発の経費を助成する。 【助成内容】補助率1/2 上限20万円 1件	大学等と商業団体との連携による商品開発の経費を助成する。 【助成内容】補助率1/2 上限20万円 1件	200	200	産業支援課
地産地消の推進	農産物の域内流通を構築し、飲食店での市内産農産物の利用拡大を図るとともに、消費者と生産者がより身近な信頼関係を構築できるよう、産地見学会・交流会の開催や、地産地消推進店登録制度の創設及び登録店のPRに取り組む。 また、新鮮で安全安心な市内産農産物を市民が購入できる機会を増やす取り組みとして、区役所朝市や幼稚園ふれあい市を開催する。さらに、学校給食に市内産農産物を供給するとともに、生産者が先生となり実施する出張授業などの取り組みにより、地産地消に関する意識の醸成を図る。	・地産地消推進登録店の拡大・PR 推進店登録数 計40店 ・区役所朝市 3区 のべ33回 ・幼稚園ふれあい市 2園 のべ11回 ・学校給食への市内産農産物の供給 8品目 ・生産者出張授業 7回7校	・地産地消推進登録店の拡大・PR 推進店登録数 計45店 ・販促物の作成 ・区役所朝市 3区で実施 ・幼稚園ふれあい市 3園で実施 ・学校給食への市内産農産物の供給 9品目 ・生産者出張授業 7回7校	・地産地消推進登録店の拡大・PR 推進店登録数 計60店 ・販促物の作成 ・区役所朝市 2区で実施 ・幼稚園ふれあい市 3園で実施 ・学校給食への市内産農産物の供給 8品目 ・生産者出張授業 7回7校	2,043	2,005	農政課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

（単位：千円）

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
企業動向調査	・本市経済の現状と課題を把握するための調査を毎年度実施することで、効果的な事業の企画や、事業の遂行にあたって適切な判断を行うことができるようにする。 ・アンケートや企業訪問ヒアリングといった調査の過程を通じて、市内企業に対する経済部の事業の周知と、市内企業による本市経済部の事業に対する評価を取得し、事業の改善を図る。	—	・企業情報の調査 市内企業1,000件、事業所1,000件 ・郵送アンケート調査 年2回実施、各回2,000件送付 上期（4月～9月）回収数・回収率 500件、25% ・企業訪問 年2回実施、各回5件 ・情報整理・分析 ・庁内報告会の開催	・企業情報の調査 市内企業1,000件、事業所1,000件 ・郵送アンケート調査 年2回実施、各回2,000件送付 ・企業訪問 年2回実施、各回5件 ・情報整理・分析	4,598	5,033	経済企画課
農業の成長産業化の推進	農業参入を希望する企業を含めた意欲ある担い手に、農地の集積・集約を図ったうえで活用を促すなど、低コストで高収益な生産体制への転換を加速させるための各種支援を行い、「農業産出額の増大」と「農業者の所得向上」を目指す。	—	「農業の成長産業化」を目指すため、新たな計画「農林業成長アクションプラン」策定のための各種調査等を実施するとともに、農業参入を希望する企業を含めた意欲ある担い手に対する各種支援制度を創設。 ・農林業成長アクションプランの策定 各種調査、施策・事業の検討 ・農地銀行補助制度 5件 ・農地銀行補助制度 5件 ・農業法人立地促進事業 4法人 ・農業生産力強化支援事業 4法人 ・食のブランド化推進事業 ブランド戦略検討・策定等	「農業の成長産業化」を目指すため、「農林業成長アクションプラン」を策定するとともに、農業参入を希望する企業を含めた意欲ある担い手に対して各種支援を実施。 ・農林業成長アクションプランの策定 附属機関や庁内会議への付議、計画の公表 ・農地銀行補助制度 5件 ・農業法人立地促進事業 4法人 ・農業生産力強化支援事業 5法人 ・食のブランド化推進事業 事務局運営他	65,900	104,500	農政課
【新規】 新たな中小企業支援（短期集中型創業者支援、新規事業創出支援、新製品等開発支援）	外部人材の活用による創業者の事業成長や新商品開発の支援及び試作品の技術的課題を解決する製品改良費の助成を実施する。	—	—	（1）短期集中型創業者支援 ※予算：15,000千円 外部メンターによる短期・集中的な経営支援を実施。 （2）新規事業創出支援 ※予算：12,000千円 専門スキルを有するプロ人材を中小企業へ派遣し、そのノウハウを活用した新商品開発の事業化を支援。 （3）新製品等開発支援 ※予算：6,000千円 産学共同研究事業などにより開発された試作品を早期に市場投入するため、製品改良などに要する経費の一部を助成。	—	33,000	産業支援課
【新規】 緑肥作物種子購入助成	環境への負荷の軽減に配慮した持続的な農業を実現するため、堆肥の活用など土づくりを基本とした環境保全型農業を推進する。 このため、土づくりに必要な緑肥作物の導入に要する経費の一部を助成する。	—	—	緑肥作物種子購入助成 ・対象者：各野菜生産出荷組織 ・対象面積：約50ha想定	—	881	農業生産振興課
【新規】 スマートシティの推進	AI、IoTなど飛躍的に発展する先端テクノロジーを活用した持続可能な都市経営の実現に向けて、千葉市の目指す方向性や具体的な取組みを検討する。	—	—	①スマートシティ推進プランの検討 ②データ連携プラットフォームの検討	—	7,939	スマートシティ推進課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

（単位：千円）

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
中小企業支援	連携協定を締結した民間レンタルオフィスと連携し、創業者等への経営相談又は賃料補助等の支援を行う。	連携協定を締結した民間レンタルオフィスにおける創業者等に対し、賃料補助及び（公財）千葉市産業振興財団コーディネータによる経営個別相談会又は市や財団の創業支援施策の説明会を実施。 【予算内訳】 ・960千円	連携先レンタルオフィスの利用者に対し、（公財）千葉市産業振興財団コーディネータによる経営相談や新規利用の創業者への賃料補助を実施。 【決算内訳】 ・40千円×2月×1者＝80千円 【決算概要】 ・賃料補助：1者 ・経営相談会：1者（1回）	連携先レンタルオフィスの利用者に対し、財団コーディネータによる経営相談や新規利用の創業者への賃料補助を実施。 【予算内訳】 40千円（月額上限）×12月×2者＝960千円	960	960	産業支援課
商業者の創業支援	実店舗において開業する小売業、飲食サービスの創業者に対し、（公財）千葉市産業振興財団や関係機関と連携して開業支援を行う。	店舗での開業を志す小売業又は飲食サービスの創業者に対し、開業時の資金面の支援を行い、事業を開始しやすい環境を構築することにより、次世代の商業の担い手を育成するため、賃借料及び改修費補助を実施。 【H30決算内訳】 合計：2件、1,393千円 ・新規1件：1,102千円 賃借料：970千円 改修費：132千円 ・継続1件：291千円 賃借料：291千円	店舗での開業を志す小売業又は飲食サービスの創業者に対し、開業時の資金面の支援を行い、事業を開始しやすい環境を構築することにより、次世代の商業の担い手を育成するため、賃借料及び改修費補助を実施。 【R元年決算見込み内訳】 合計：4件、3,370千円 ・新規3件：2,536千円 賃借料：536千円（3件） 改修費：2,000千円（2件） ・継続1件：834千円	店舗での開業を志す小売業又は飲食サービスの創業者に対し、開業時の資金面の支援を行い、事業を開始しやすい環境を構築することにより、次世代の商業の担い手を育成するため、賃借料及び改修費補助を実施。 【R2予算内訳】 合計：6件、6,300千円 ・新規2件：4,400千円 賃借料：2,400千円（100千円×12月×2件） 改修費：2,000千円（1,000千円×2件） ・継続4件：1,900千円 賃借料：1,900千円	3,370	6,300	産業支援課
産学共同研究の促進	新事業の創出や経営革新を促進するため、市内中小企業と大学等の研究機関が連携して実施する共同研究開発費用の助成件数を拡充する。	産学共同研究促進事業の助成金として2,000千円×1件拡充。 （助成件数6件）	産学共同研究促進事業の助成金として2,000千円×2件拡充する。 （助成件数8件）	・産学共同研究促進事業の助成金として2,000千円×8件実施する。 ・令和元年度の産学合同技術シーズ交流会でマッチングした企業を支援し、本補助金の活用に繋げる。	13,000	16,000	産業支援課
成長期にある企業の育成支援	企業の経営革新や新事業の創出を図るため、デザイン分野のコーディネーター等を市産業振興財団に増員する。また、優秀なビジネスプランの事業化を支援するコンテスト「ベンチャーカップ」にアグリビジネスやロボット・AI分野の賞を新設する。	・企業の経営革新や新事業の創出を図るため、デザイン分野のコーディネーターを市産業振興財団に配置した。 ・優秀なビジネスプランの事業化を支援するコンテスト「ベンチャーカップ」にアグリビジネスやロボット・AI分野の賞を新設した。	市産業振興財団において、より効果的な体制を構築し相談事業を実施する。 コーディネーター 1名増員 サブコーディネーター 1名増員	それぞれの得意分野を持ったコーディネーター9名で経営相談を受け付けるとともに、ビジネスアドバイザー（旧サブコーディネーター）が支援企業の掘り起こし及び既存のコーディネーターの得意分野とは異なる分野の相談に対応する。	62,665	62,620	産業支援課
中小企業の販路拡大支援	市内中小企業等が開発した製品・商品について、新規性・独自性等の観点から市が認定したものを試験的に発注、使用することで当該製品等の有用性を評価し、官公庁での受注実績をつくることにより、販路開拓を支援し、市内企業の育成を図る。	認定商品を見本市等に出展する際の出展費用の助成を行った。	新事業分野開拓者に対し、更なる販路拡大支援のため、既存の展示会出展費用助成に加え、市が大規模展示会におけるブースを確保し事業のPRを積極的に行う。 トライアル発注認定事業：認定8社、準認定3社 展示会出展費用助成：5件、983千円 大規模展示会への出展：20社（トライアル認定企業過去4年分）	新事業分野開拓者に対し、販路拡大支援のため、展示会出展費用助成及び大規模展示会における千葉市ブースの出展により、事業のPRを積極的に行う。 トライアル発注認定事業 展示会出展費用助成：3件、600千円 大規模展示会への出展	6,528	9,859	産業支援課
スタートアップ支援の強化	スタートアップ期にある事業者を支援するため、創業者研修による経営知識等の習得などの支援を行う。優れたアントレプレナーを発掘し、支援を行うことで市内経済の活性化を図る。	創業支援事業者の千葉市産業振興財団等による創業者研修等を6講座実施（1講座当り4～6回開催） 【H30対象講座及び決算額】 ①創業者研修（上期）22名 千葉市産業振興財団 599千円 ②創業者研修（下期）14名 千葉市産業振興財団 596千円 ③経営力強化講座 10名 千葉市産業振興財団 1,997千円 ④創業スクール 20名 千葉商工会議所 — ⑤創業スクール（上期）30名 千葉県信用保証協会 — ⑥創業スクール（下期）28名 千葉県信用保証協会 —	創業支援事業者の千葉市産業振興財団等による創業者研修等を6講座実施（1講座当り4～6日開催） 【H31講座及び決算額】 ①創業者研修（5日）千葉市産業振興財団 596千円 ②創業者研修（5日）千葉市産業振興財団 597千円 ③経営力強化講座（6日）千葉市産業振興財団 2,032千円 ④創業スクール（5日）千葉商工会議所 — ⑤創業スクール（4日）千葉県信用保証協会 — ⑥創業スクール（4日）千葉県信用保証協会 —	創業支援事業者の千葉市産業振興財団等による創業者研修等を6講座実施（1講座当り4～6日開催）予定 【R2講座及び予算額】 ①創業者研修 千葉市産業振興財団 660千円 ②創業者研修 千葉市産業振興財団 660千円 ③経営力強化講座 千葉市産業振興財団 2,085千円 ④創業スクール 千葉商工会議所 — ⑤創業スクール 千葉県信用保証協会 — ⑥創業スクール 千葉県信用保証協会 —	3,225	3,405	産業支援課
産学合同技術シーズ交流会	大学等研究機関の研究シーズや中小企業の技術力をよりオープンにし、産学共同研究を促進するため、大学等研究者からの研究シーズ発表や市内中小製造業の技術発表などからなる交流会を開催し、産業界と大学関係者の更なる技術向上を図る。	大学等研究機関の研究シーズや中小企業の技術力を広く周知し、意見交換の場を設けるなど、事業化に向けた支援を行った。	産学連携による研究開発や実証試験、試作品の製作など、事業化に向けた支援を行う。平成31年度は3年ぶりに「第2回産学合同技術シーズ交流会」を開催し、新たな研究シーズやマッチングのニーズの創出を促す。	・令和元年度の産学合同技術シーズ交流会でマッチングした企業を支援し、大学等研究費用助成、産学共同研究促進事業の活用に繋げる。 ・特定の分野に絞ったビジネスシーズ交流会を実施する。	1,796	980	産業支援課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

(単位：千円)

施策(3) 「技術」と「産業」と「資金」をつなぐ仕組み							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
農業の6次産業化の推進	農業者等の所得の向上を図るため、6次産業化を目指す事業者に対し、加工用施設の整備などの支援を行う。	農家レストラン等6次産業化志向者の情報を把握し、実施に向けた支援を行った。	障害者就労支援施設等が取り組む6次産業化の計画に対し、実施に向けた支援を行う。	(1) 6次産業化加工設備補助(ハード支援) 1件 (2) 6次産業化商品開発補助(ソフト支援) 1件	—	2,000	農政課
女性起業家の創出	女性の創業理解の促進等を図り、創業へのモチベーション向上を機に女性起業家の増加と育成を目指すため、基調講演、先輩女性起業家からの講話、パネルディスカッション等の起業家創出イベントを開催する。	—	きぼーのアトリウムを会場として、女性起業家や起業希望者を集め、起業家創出イベントを開催する。 (1) 基調講演 (2) パネルディスカッション (3) 女性起業家PRブース出展 (4) 個別相談	きぼーのアトリウムを会場として、女性起業家や起業希望者を集め、起業家創出イベントを開催する。 (1) 基調講演 (2) パネルディスカッション (3) 女性起業家PRブース出展 (4) 個別相談	500	1,300	産業支援課
クラウドファンディング・クラウドソーシングの活用促進	クラウドファンディングを活用した資金調達及びクラウドソーシングを活用した業務の受発注を促進するため、セミナーの開催及びサービス活用に係る費用を補助する。	—	市内事業者のクラウドファンディングやクラウドソーシングの活用促進を図るため、セミナーの開催及びクラウドファンディングに要する費用を補助する。 1 クラウドファンディング (1) セミナー開催委託料 2,000千円 (2) 補助金 500千円 ※250千円×2者=500千円 2 クラウドソーシング (1) セミナー開催委託料 1,439千円 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催に向けた準備を行うも中止。	市内事業者のクラウドファンディングやクラウドソーシングの活用促進を図るため、セミナーの開催及びクラウドファンディングに要する費用を補助する。 1 クラウドファンディング (1) セミナー開催委託料 2,000千円 (2) 補助金 1,000千円 2 クラウドソーシング (1) セミナー開催委託料 4,000千円	3,939	7,000	産業支援課

(単位：千円)

施策(4) MICEの誘致・観光プロモーションによる世界の観光需要の取り込み							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
JBCF 幕張新都心クリテリウム開催	都市イメージの向上及び自転車のまちづくりへの市民理解の促進のため、国内トップレベルのツアーレースを開催し、市民がスポーツ自転車に触れる機会を創出することにより、自転車への関心や興味を持つきっかけとするとともに、全国に大きくPRを図る。	7,000人観戦	7,500人観戦	レース運営はJCBF(日本実業団自転車競技連盟)に委託し、付随する盛り上げイベントや広報などについては県や市、幕張メッセなどが参加する地元実行委員会を中心に行っていくことで、自転車利用の啓発や、観戦者の増加につなげる。	3,150	3,150	スポーツ振興課
(仮称)千葉公園ドームの整備	自転車スポーツの普及を通じ、新たな賑わいを創出するため、現千葉競輪場を民間活力により再整備し、国際ルールに基づく250競輪や自転車スポーツ振興に向けた取組みを進める。	現千葉競輪場の除却(第1期)に着手	・現千葉競輪場の解体除却(第1期)完了 ・(仮称)千葉公園ドームの建設着工(民間事業者負担)	・(仮称)千葉公園ドームの完成(R2年12月) ・250競輪の開催 5節10日 ・現千葉競輪場の解体除却(第2期)着手	930,204	279,950	経済企画課
MICEの推進	本市には、多数のMICE施設、研究・教育機関、企業等が立地しており、MICE開催地としての強みを生かし、市内開催会議の支援や都市の魅力発信することによりMICEの誘致を促進し、地域経済の活性化を図る。	国際会議を積極的に市内へ誘致し、国際観光の振興、地域経済の活性化などを図るため、開催経費の一部を助成するとともに、MICE関係者へのPR活動を行うほか、大規模MICE開催支援や大規模イベント開催に合わせた賑わいを創出する。	国際会議開催補助金による支援 1件 MICE開催補助金による支援 0件 大規模コンベンション開催補助金による支援 0件 国際会議や大規模イベント等開催時の主催者ニーズに応じたアフターコンベンション充実への支援 2件 MICE開催による効果測定調査実施	国際会議開催補助金による支援 3件 MICE開催補助金による支援 1件 大規模コンベンション開催補助金による支援 1件 国際会議や大規模イベント等開催時の主催者ニーズに応じたアフターコンベンション充実への支援 4件 オリパラを活用したおもてなし観光発信	125,975	35,567	観光MICE企画課
グローバルMICE都市誘致競争力強化	観光庁が主催する、グローバルMICE都市を対象とした支援事業に参加する。	—	本市がH27-28年度に実施した観光庁支援事業と内容が同一だったため、実施を見送った。	グローバルMICE都市を対象に、観光庁が主催する支援事業に、ちば国際コンベンションビューローとともに参加する。 R2年度事業内容は、未発表である。	—	3,000	観光MICE企画課
夜間の経済・文化活動の振興	夜間における経済・文化活動の振興を促進するため、民間提案事業を支援する千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援制度の運用を行うとともに、ナイトタイムエコノミーに関する審議及び支援対象事業の審査等を行う千葉市ナイトタイムエコノミー推進審議会(附属機関)を運営する。	・実証実験事業を含めた外部調査委託	・事業費補助を含む支援制度の創設(補助対象経費の1/2、上限1,000万円以内) ・審議会の設置 (ナイトタイムエコノミーに関する審議及び支援対象事業の審査等)	・事業費補助を含む支援制度の運用(継続)(補助対象経費の1/2、上限1,000万円以内)(東京2020公認プログラムの認証取得) ・審議会の運営(継続) (ナイトタイムエコノミーに関する審議及び支援対象事業の審査等)	15,684	16,599	経済企画課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

(単位：千円)

施策(4) MICEの誘致・観光プロモーションによる世界の観光需要の取り込み							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
グリーンツーリズムの推進（再掲）	「緑」「里」「農」をキーワードとする農業体験や観光資源を活用した滞在型余暇活動の促進を図るため、特区民泊施設の利用環境整備の助成を行うとともに、外部人材による戦略的な集客プロモーションを推進する。	産・学・官の参加する委員会を設置し、グリーンエリアにふさわしい名称・イメージを考案、決定した名称等を活用してプロモーションを行うほか、千葉市観光協会が実施する広域連携プロモーションについても支援する。	・地域プロモーション（情報発信） ・地域連携モニターツアー ・里山サイクリングマップ更新 ・市内産農産物を提供する移動販売誘致に関する調査	・エリアブランディング及びPR ・地域連携プロモーション（情報発信） ・民泊施設への観光情報提供	19,201	18,000	観光プロモーション課
訪日外国人受入環境整備	今後拡大が予想される東南アジアをはじめとする訪日観光客のインバウンド需要を取り込むため、外国の多様な文化や風習、ハラルやベジタリアンなどの食習慣に対応できるおもてなし体制を官民連携して整え、それらの周知を図るために効果的な情報発信を行う。（「おもてなしダイバーシティ」戦略）	本市がターゲットとしているマレーシア、台湾からの訪日外国人客を誘致するため、そして2020年東京五輪開催にむけて多様な文化を持つ外国人客を受け入れるためにムスリムだけでなく、ベジタリアン等にも対応できる「食のダイバーシティ」を新たな目標と掲げ、「おもてなしダイバーシティ」戦略を推進する。	【食のダイバーシティ対応の促進】 ・ムスリムおもてなしマップの更新：1回 ・ムスリム対応事業者の増加 飲食店5店舗（H28）→29店舗（R元） ホテル1軒（H28）→4件（R元） 美容室0店舗（H28）→6店舗（R元） ・マレーシア留学生スポーツ大会の開催誘致、PR活用 【千葉おもてなしSHOPガイド（多言語対応の促進）】 ・クーポン機能の搭載 【外国人向け観光ボランティアガイドの養成・活用】 ・合計102名養成完了（H29～H31の合計） ・活躍機会の創出	【食のダイバーシティ対応の促進】 ・ムスリムおもてなしマップの作成（更新）（年1回） ・マップ掲載店舗への来客数増加を図るプロモーション ・ムスリム対応、ベジタリアン対応事業者の増加 ・マレーシア留学生スポーツ大会の開催誘致、PR活用 【千葉おもてなしSHOPガイド（多言語対応の促進）】 ・登録支援 ・広域連携PR 【外国人向け観光ボランティアガイドの養成・活用】 ・合計100名養成完了 ・活躍機会の創出	6,155	6,902	観光プロモーション課
海外向け観光プロモーションの推進	訪日外国人客を本市に誘致することにより、観光消費額及び交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るために、海外展示会・商談会への参加、ファムトリップの招聘などの海外プロモーションを強化する。	これまではマレーシアをターゲットに取り組んできたが、H30年度より台湾を新たなターゲットに加えて海外プロモーションを推進する。そのために、千葉県やちば国際コンベンションビューロー、周辺自治体との広域連携等を展開し、効果的なプロモーションを実施する。	・海外セールスの実施（展示会・商談会への参加） 海外4回（マレーシア2回・台湾2回）、国内3回 ・プロ野球を活用した台湾プロモーション ・駐日留学生を活用したマレーシアプロモーション ・おもてなしSHOPガイドを活用した広域連携PR	・海外セールスの実施（展示会・商談会への参加） 海外4回（マレーシア1回・インドネシア1回、台湾2回）、国内3回 ・プロ野球を活用した台湾プロモーション ・駐日留学生を活用したマレーシアプロモーション	6,050	7,650	観光プロモーション課
国内向け観光プロモーションの推進	市の観光資源について、市場の求めに応じて魅力を発掘し、消費者が楽しめる体験型や、モデルルートに加工し、市内外に千葉市独自の魅力として発信する。「うみ・まち・みどり」三拍子揃った千葉市のブランドを確かなものにする。	プランの造成・運営過程において、主催事業者がプランの自立運営が行えるようサポート・育成し、市内の観光資源の掘り起こしや活用につなげていく。	体験型観光プラン集「千葉あそび」の造成運営 ・年3号発行/25,000部 ・1号あたり11プラン掲載	体験型観光プラン集「千葉あそび」の造成運営 ・年2号発行/30,000部 ・1号あたり13プラン掲載	10,000	10,000	観光プロモーション課
【新規】 外国人観光客向け観光案内・有料ガイドツアー施設の設置	オリバラ開催を好機として捉え、海浜幕張を拠点とした観光案内および市内滞在時間増加に向けての機会創出の契機となるガイドツアー事業拠点の施設を運営する。	「実行委員会」を設置し、当該実行委員会から案内所及びガイドツアー業務を民間業者に委託する。 構成 (1) 千葉市 (2) (公社) 千葉市観光協会 (3) 三井不動産(株)及び三井不動産商業マネジメント(株)	—	設置場所：千葉市美浜区ひび野2-6-1 三井アウトレットパーク幕張Aサイト1F 設置期間：令和2年5月～令和2年9月 来場者：15,000人 ガイドツアー参加者：600名  ※オリバラ延期の影響で一部事業についてR3年度に延期	—	25,000	観光プロモーション課
【新規】 乳牛育成牧場跡地整備	市内陸部における、観光誘客によるにぎわいを創出するため、乳牛育成牧場跡地において、民間事業者が行う、預託事業を含めた新たな観光拠点の施設整備等に対し助成する。	—	—	1 既存施設解体費及び跡地整備費負担金 (1)既存施設解体費負担金 (2)井戸水ろ過装置及び滅菌機整備負担金 2 施設整備費等補助	—	283,000	農政課 農業生産振興課
【完了】 海辺・幕張新都心の魅力を活用したエリアPR・集客プロモーション（レッドブルエアレース）	3次元で戦う世界最速のモータースポーツ・シリーズ「Red Bull Air Race World Championship」の本市開催を機に、臨時観光案内所や歓迎バナーの設置、市の魅力のプロモーションなど、観覧者に対する観光PRを実施し、本市のイメージアップを図る。	—	・レッドブルエアレース後援会等と協働したPR事業を展開 (海浜幕張駅周辺での歓迎バナー設置、開催当日の観光案内ブース、観光ガイドブックの作成等)	—	21,500	—	観光プロモーション課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
ふるさとハローワーク管理運営（相談窓口・就業ポータルサイト・セミナー）	ふるさとハローワークや求職者向けセミナーや、就業ポータルサイトの運営について、ノウハウのある民間へ一括委託を行い実施する。	景気拡大による求職者数の減少により、ハローワークの求人紹介件数、就業者数（ふるさとハローワークと一体的に実施）ともに微減となった。 ハローワーク実績（ふるさとハローワークと一体的に実施） ・利用者数：30,137件 ・就業者数：1,107件	【令和元年度の実績】令和2年3月末現在 ■ふるさとハローワーク（相談窓口）（いなげ）利用者数：14,368人、就職者数：545人（みどり）利用者数：16,789人、就職者数：691人 ■就業ポータルサイト「ジョブちば」 ・登録企業数：221社 ■求職者・企業向けセミナー ・シニア向け：2回（参加者 延べ54人） ・女性向け：2回（参加者 延べ29人） ・企業向け：1回（参加者：22社、29人）	【令和2年度の予定】 ■ふるさとハローワーク（相談窓口）（いなげ）継続実施（みどり）継続実施 ※利用者数の目標値は3月に確定 ■就業ポータルサイト「ジョブちば」 ・掲載企業数（一般&新卒）：40社 ※1月あたりの有効求人掲載企業数 ■求職者・企業向けセミナー ・シニア向け：2回（参加者 延べ50人程度） ・女性向け：2回（参加者 延べ50人程度） ・企業向け：1回（30社程度）	18,169	18,335	雇用推進課
インターンシップ促進	若者の定着と地元企業の活性化を図るため、インターンシップ拡充に向けた取組みにより、学生の職業観の醸成と就職先選定にあたり、市内企業へと視野を広げるとともに、企業と市内大学との連携を図り、市内企業情報の学生へのPRの機会を提供する。	市原市・四街道市と協働し、大学3年生と域内企業のインターンシップのマッチングを図る合同企業説明会を開催した。	企業を対象にインターンシップ受入準備等のセミナーを開催することで、インターンシップの拡充を図る。 ○インターンシップ入門セミナー 実施回数 2時間×2回（10月） 参加企業数 28社 ○インターンシップ実践セミナー 実施回数 2時間×2回（10月） 参加企業数 29社 ○インターンシップ必勝セミナー 実施回数 2時間×2回（10月） 参加企業数 30社 ※上記セミナーに参加した企業のうち28社が合同企業説明会(11月17日)に参加。 ○インターンシップ振り返りセミナー 実施回数 2時間×1回（2月） 参加企業数 15社	企業を対象にインターンシップ受入準備等のセミナーを開催することで、インターンシップの拡充を図る。 ○インターンシップ受入準備セミナー 目標回数 4回以上 目標企業数 延べ80社以上  ○インターンシップ振り返りセミナー 目標回数 1回以上 目標企業数 延べ20社以上	1,789	1,800	雇用推進課
ちばっ子商人（あきんど）育成スクール（再掲）	小中高校生を対象に、将来の職業選択の一つとして自ら起業することを意識づけるため、大学や企業、地元商店などと連携して、実体験により経済の仕組みを学ぶことができる講座などを開催する。	参加者数：1,025名 【内訳】 西千葉子ども起業塾 参加者：26名 中学生のための起業体験講座 参加者：4名 幕張新都心ビジネススクール 定員：10名 夏休みおしごと感動体験 参加者：985名	参加者数：1,018名 【内訳】 西千葉子ども起業塾 参加者：32名 中学生向け起業体験講座（軒先珈琲カフェ起業体験講座） 参加者：20名 幕張新都心ビジネススクール 参加者：7名 夏休みおしごと感動体験 参加者：959名	参加者数：1,080名程度 【内訳】 西千葉子ども起業塾 定員：20名程度 中学生向け起業体験講座（新規） 定員：20名程度 幕張新都心ビジネススクール 定員：30名程度 夏休みおしごと感動体験 定員：1,000名程度	1,421	3,000	雇用推進課
中小企業人材育成研修費補助（再掲）	市内中小企業の活性化や産業振興につながる「人材づくり」を促進するため、ポリテクセンター等が実施する研修をはじめ、従業員などが業務に必要な技術、技能、知識の習得に向けて各種研修制度を利用した場合に、その経費の一部を助成する。	要綱改正により、対象講座を追加し、申請回数を無制限にして利便性を高めたため、更なる周知を図り、制度利用を促進して、市内中小企業の人材育成を支援した。 件数：29件	要綱改正により補助対象の拡充を図った。 【要綱改正の内容（H31年度～）】 ・補助対象者の拡充 ⇒市内の共同団体（企業団体など）を追加 ※～H30年度までは「市内中小企業者」のみ ・補助対象となる研修を拡充（補助対象者：市内中小企業者） ⇒千葉県職業能力開発協会の実施する講座を追加  【令和元年度の実績】 ・補助対象：中小企業者…27社 ・補助対象：共同団体…1団体	市内中小企業者、共同団体の利用促進に向け、関係機関と連携し事業の周知を図る。 補助金の利用ニーズを把握するため、企業向けにアンケートを実施する。  【令和2年度の予定】※予算の内訳 ・補助対象：中小企業者…30社×50千円＝1,500千円 ・補助対象：共同団体…5団体×100千円＝500千円	2,000	2,000	雇用推進課
企業の人材採用力の向上支援	市内企業の人材採用力と定着率の向上を図るため、ニーズ調査を行うとともに、働きやすい職場づくりや、生産性向上に係る課題抽出と解決策の提案を行うアドバイザーを実証事業として企業に派遣する。	企業の人材採用力の向上を支援するため、ニーズ調査を行うとともに、キャリアアップアドバイザーを配置しコンサルティング実証事業を行った。支援企業数：14社	キャリアアップアドバイザーの企業訪問、121件、支援46件（R2.3月末） セミナーの開催：2回 ①働き方改革 開催日：7/3、参加者：52名 ②外国人材 開催日：2/18、参加者：名21名	キャリアアップアドバイザーの企業訪問、125件、支援50件 セミナーの開催：2回（働き方改革、外国人材）9月以降を予定	4,506	3,614	雇用推進課
技術職・技能職の魅力啓発	中学生や高校生にとって技術系の職種が将来の職業選択のひとつとなるよう、市内のものづくり企業での職場見学や社員との対話を行うバスツアーなどを実施する。	技術系職種への人材供給を図るため、啓発冊子を作成し、市内中学2年生（約8,000名）に配布した。また、高校生を対象に企業見学バスツアーを実施し、ものづくり企業の魅力に触れる機会を創出した。 バスツアー実施回数：2回 参加者数：58人	技術系職種への人材供給を図るため、啓発冊子を作成し、市内中学2年生（約8,000名）に配布する。また、高校生を対象に企業見学バスツアーを実施し、ものづくり企業の魅力に触れる機会を創出するとともに、新たに高校生の就職に大きな影響力がある保護者を対象としたセミナーを実施。 ①バスツアー：実施日11/8、参加者41名 ②保護者セミナー：実施日12/15、参加者73名	高校生を対象に企業見学バスツアーを実施し、ものづくり企業の魅力に触れる機会を創出するとともに、高校生の就職に大きな影響力がある保護者を対象としたセミナーを実施する。啓発冊子について令和2年度は「ちば共創都市圏広域連携」の項目として整理。 ①バスツアー：11月実施予定 ②保護者セミナー：10月～12月頃実施予定	2,312	1,210	雇用推進課



■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

(単位：千円)

施策(5) 地域経済を支える人材の育成							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
多様な農業の担い手の確保・育成	新たな農業の担い手を確保・育成するため、新規就農希望者研修や就農相談ブース出展を行うとともに、国の農業次世代人材投資資金を交付し支援する。	・新規就農希望者研修 新規研修生募集数：5人 ・農業次世代人材投資資金(経営開始型) 交付件数：個人17人、夫婦4組 ・「新・農業人フェア」への就農相談ブース出展 1回	・新規就農希望者研修 新規研修生募集数：5人 ・農業次世代人材投資資金(経営開始型) 交付予定件数：個人22人、夫婦4組 ・「新・農業人フェア」への就農相談ブース出展1回 ・新規就農地再生支援事業【新規】 交付件数2件 (補助率：対象経費の75/100以内) ・経営能力・販路拡大講座【新規】 1回	・新規就農希望者研修 新規研修生募集数：5人 ・農業次世代人材投資資金(経営開始型) 交付予定件数：個人20人、夫婦3組 ・「新・農業人フェア」への就農相談ブース出展1回 ・新規就農地再生支援事業 交付予定件数2件 (補助率：対象経費の75/100以内) ・経営能力・販路拡大講座 1回	30,662	41,891	農業経営支援課
放課後子ども教室推進（放課後子ども教室における職業体験）	幅広い業種について、将来の職業の選択肢のひとつとなるような興味を育むきっかけを提供するため、放課後子ども教室において、民間企業等の協力も得た体験プログラムを実施する。	・電気設備工事 ・駄菓子屋 ・ガス検針 を実施予定	・電気設備工事 ・美容師 ・建築士 ・物流 等の職業体験を実施予定	・電気設備工事 ・工場見学 ・住宅設備 ・パティシエ 等の職業体験を実施予定	215,406	415,452	生涯学習振興課
生涯学習施設等を活用した学び直し・キャリアアップ支援	市民の学び直し・キャリアアップを支援するため、生涯学習施設において、関係機関との連携等により、資料等の情報提供や各種講座、eラーニングを活用した学習機会の提供等を行う。	4講座実施 89人 eラーニング利用者 13人	6講座実施 137人 eラーニング利用者 25人	6講座実施予定 150人参加予定 eラーニング利用者 30人程度	68	100	生涯学習振興課
農業の成長産業化の推進（再掲）	農業参入を希望する企業を含めた意欲ある担い手に、農地の集積・集約を図ったうえで活用を促すなど、低コストで高収益な生産体制への転換を加速させるための各種支援を行い、「農業産出額の増大」と「農業者の所得向上」を目指す。	—	「農業の成長産業化」を目指すため、新たな計画「農林業成長アクションプラン」策定のための各種調査等を実施するとともに、農業参入を希望する企業を含めた意欲ある担い手に対する各種支援制度を創設。 ・農林業成長アクションプランの策定 各種調査、施策・事業の検討 ・農地銀行補助制度 5件 ・農業法人立地促進事業 4法人 ・農業生産力強化支援事業 4法人 ・食のブランド化推進事業 ブランド戦略検討・策定等	「農業の成長産業化」を目指すため、「農林業成長アクションプラン」を策定するとともに、農業参入を希望する企業を含めた意欲ある担い手に対して各種支援を実施。 ・農林業成長アクションプランの策定 附属機関や庁内会議への付議、計画の公表 ・農地銀行補助制度 5件 ・農業法人立地促進事業 4法人 ・農業生産力強化支援事業 5法人 ・食のブランド化推進事業 事務局運営他	65,900	104,500	農政課
【新規】就職氷河期世代支援	希望する就職ができず、無業の状態あるいは、不本意ながら不安定な仕事についている30代半ばから40代半ばまでのいわゆる就職氷河期世代に対し、国と市が連携して支援を行う	—	—	企業が必要とする能力の基礎教育、企業とのマッチングまで一貫して行う。定員：30名	—	2,900	雇用推進課
【新規】奨学金返還サポート制度	市内企業への就労促進を図るため、千葉職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ千葉）の卒業生（貸与型奨学金利用者）が市内企業に就職した場合、最大3年間奨学金返還支援金を支給する。	—	—	・ポリテクカレッジ千葉の学生へ事業を周知する ・利用申請の受付を行う	—	—	雇用推進課

(単位：千円)

施策(6) ダイバーシティ（多様性）と男女共同参画の推進							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
ダイバーシティ推進協議会の設置	多様な人材が持つ能力を最大限発揮できる社会の実現を目指し、新たにダイバーシティ推進協議会を設置する。	ダイバーシティ推進協議会設置の必要性を含め、検討する。	ダイバーシティ推進協議会設置の必要性を含め、検討する。	ダイバーシティ推進協議会設置の必要性を含め、検討する。	0	58	男女共同参画課
啓発シンポジウムの開催（ダイバーシティ推進）	多様な人材が持つ個性と能力を発揮できる社会をめざしダイバーシティを推進するため、啓発シンポジウムを開催するとともに、市内企業などとの連携を強化する。	啓発シンポジウムの開催 市内企業、団体等向けに講演会やトークセッションを実施	市内企業、団体等向けにセミナーを実施	啓発シンポジウムの開催 市内企業、団体等向けに講演会やセミナー、トークセッションを実施	0	1,010	男女共同参画課
男女共同参画推進事業者登録制度の推進	男女が働きやすい環境整備を推進している事業者を支援するため、男女共同参画を推進する取組みを行っている事業者を登録し、取組みの事例を市ホームページなどで紹介する。	登録事業者数を増やす	登録事業者数を増やす	登録事業者数を増やす	0	316	男女共同参画課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
男性の子育て支援	男性の子育てを支援するため、両親学級の土日開催を拡充するとともに、プレババママ講座やイクメン応援イベントなどの開催や男性の育児休業取得促進奨励金の支給などを実施する。また、市内企業に対し、ワーク・ライフ・バランスの周知を行う。	土日開催両親学級15回 プレババママ講座12回 パバスクール1回(4回連続講座) イクメン応援イベント1回 育児休業奨励金 6件	土日開催両親学級15回 プレババママ講座 11回 パバスクール 1回(4回連続講座) イクメン応援イベント 1回 育児休業奨励金 8件	土日開催両親学級16回(基本内容12回+フォローアップ4回) プレババママ講座 12回 パバスクール 1回(4回連続講座) イクメン応援イベント 1回 育児休業奨励金見込み 5件	4,082	4,313	健康福祉部 子ども未来部
障害者理解の促進	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、障害及び障害者への理解を促進するため、市内小学校で障害者自らの体験を語る講話やバラスポーツなどの体験学習会を実施する(福祉講話)。	40校で実施。	38校で実施	40校で実施予定。	628	656	障害者自立支援課
障害者の就労支援	障害のある方の職業的自立を支援するため、福祉・教育・労働等の機関と連携し就労に関する相談・支援を行うとともに、障害者と企業の相互理解を深め、障害者の一般就労を促進するため、企業での職場実習などを実施する。	実習利用 6人 なお、障害者職業能力開発プロモート事業は平成29年度末をもって廃止。	実習利用 10人	実習利用 12人	102	184	障害者自立支援課
地域生活支援拠点整備	障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくるため、地域生活支援拠点の整備を進める。	親亡き後の障害者や障害児への支援体制を構築するため、緊急時の受入れを想定した2室の空室確保をモデル事業として実施。	地域自立支援協議会に拠点の見直しにかかる作業部会を設置し、今後の方向性について検討を行った。	親亡き後の障害者や障害児への支援体制を構築するため、地域生活支援拠点を増設 1か所→3か所	9,900	24,750	障害福祉サービス課
男性保育士労働環境の改善	男性保育士の労働環境の改善を図るため、更衣室兼休憩スペースの確保を行うとともに、トイレの男女分離化を行う。	更衣室兼休憩スペースの男女分離化(倉庫設置等)5か所 トイレの男女分離化(実施設計) 5か所	更衣室兼休憩スペースの男女分離化(倉庫設置等)5か所 トイレの男女分離化(実施設計) 5か所 (改修工事) 5か所	更衣室兼休憩スペースの男女分離化(倉庫設置等)5か所 トイレの男女分離化(改修工事) 5か所	9,340	20,000	幼保支援課
農業の6次産業化の推進(再掲)	障害者就労支援施設等が取り組む6次産業化の計画に対し、実施に向けた支援を行う。	農家レストラン等6次産業化志向者の情報を把握し、実施に向けた支援を行った。	障害者就労支援施設等が取り組む6次産業化の計画に対し、実施に向けた支援を行う。	(1)6次産業化加工設備補助(ハード支援)1件 (2)6次産業化商品開発補助(ソフト支援)1件	—	2,000	農政課
スクールメディカルサポート(再掲)	千葉市立の小学校、中学校及び特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童のうち、保護者の全面支援が難しい場合、かつ児童の自己対応が難しい場合に対して医療行為を行うメディカルサポーターを派遣する。	メディカルサポーター 4人 8校8人に派遣	メディカルサポーター 6人 7校7人の児童生徒に派遣	メディカルサポーター 6人 6校6人の児童生徒に派遣予定	10,835	18,964	養護教育センター
LGBT専門相談	ちば男女共同参画基本計画・第4次ハーモニープランにおいて、「LGBT(性的少数者)への理解促進」を重点施策としていることから、面談に向くことが困難な当事者への支援として電話相談を実施する。	—	LGBTに関する悩みを相談する窓口として令和元年11月に「LGBT電話相談」を開設し、毎月第3日曜日に4時間電話相談を実施、相談者に適切な対応を行うための体制を整えた。また、チラシやポスターを作成し、事業開始の周知に努めた。	LGBTに関する悩みを相談する窓口として、月1回・4時間「LGBT電話相談」を実施する。	441	600	男女共同参画課
パートナーシップ宣誓制度	パートナーシップを形成する市民が、夫婦関係にある市民との取り扱いの相違に起因する課題を解消出来るよう、市長がパートナーシップ宣誓を受け、証明書等を発行する。	千葉市パートナーシップ宣誓制度の施行(H31.1.29) 宣誓組数 24組(H31.3末現在) ※H31.5末時点実績 37組	「千葉市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱」に基づき、宣誓書收受、証明書等発行、変更・解消届出の受理を行う。庁内関係所管への制度活用依頼、庁外への周知啓発に努める。 宣誓組数 36組(R2.3末現在)	「千葉市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱」に基づき、宣誓書收受、証明書等発行、変更・解消届出の受理を行う。庁内関係所管への制度活用依頼、庁外への周知啓発に努める。	213	407	男女共同参画課
【新規】 地域日本語教育の推進	外国人市民に対する日本語学習の機会を確保するため、地域における日本語教育の現状を調査し、計画を策定する。	—	—	・実態調査の実施(調査対象：地域日本語教室、外国人市民等) ・有識者会議の開催(10人程度・年4回程度) ・「千葉市地域日本語教育推進プラン(仮称)」の策定	—	7,000	国際交流課
【新規】 障害者相談支援体制の強化(計画相談支援推進助成)	障害者相談支援事業の強化のため、既存の相談支援体制を見直し、基幹相談支援センターを設置するとともに、事業所が相談支援専門員を増員した場合などに事業費の一部を助成する。	—	—	1 基幹相談支援センター設置 各区1か所 相談員 3人→4人、事務職員 0人→1人 2 計画相談支援推進助成	—	148,032	障害福祉サービス課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略2. 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

(単位：千円)

施策(6) ダイバーシティ(多様性)と男女共同参画の推進							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
【新規】 重度訪問介護利用者の大学修学支援	障害者の社会参加を促進するため、重度障害者が大学等へ修学するにあたり、通学中及び学内での身体介護を提供するサービスを実施。	—	—	利用予定人数 1人	—	1,600	障害福祉サービス課

重点戦略3. 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力にあふれたまちづくり

(単位：千円)

施策(1) 妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
乳児家庭全戸訪問の推進	支援が必要な家庭を早期に把握、支援するため、生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供等を行う。	6,385件	6,272件	6,494件	10,185	10,194	健康支援課
発達障害等の早期発見・早期療育の推進	発達障害の早期発見・早期療育を図るため、1歳6か月児健康診査において臨床心理士及び保育士を配置するとともに、健診後の事後支援を実施する。	事後支援教室実施回数30回	事後支援教室実施回数30回	事後支援教室実施回数30回	608	662	健康支援課
妊娠出産包括支援（母子健康包括支援センターと産後ケア）	保健福祉センター健康課内に専門職（助産師又は保健師）を配置し、妊娠届出時等を契機として、妊娠・出産・子育てに係る相談・支援を行う母子健康包括支援センターを平成29年4月から開設した。また、産後ケア事業を平成29年7月から開始し、助産師による産婦及び乳児の心身のケア、沐浴・授乳の実技指導、子育てに関する相談・助言指導等を行う訪問型及び宿泊が可能な施設型サービスを提供する。	母子健康包括支援センター 妊娠届出数 6,700件  産後ケア事業利用数 訪問型 延べ1,153回 施設型 延べ678日	母子健康包括支援センター相談員3人増員（6人→9人） 妊娠届出数6,623件  利用者負担割合 課税世帯 3割→2割。 非課税世帯 1割（施設型自己負担に上限2,500円設定） 産後ケア事業利用数 訪問型 延べ 2,507回 施設型 延べ 1,126日	母子健康包括支援センター相談員4人増員（9人→13人） 妊娠届出数6,205件  産後ケア事業利用数 訪問型 延べ2,292回 施設型 延べ1,128日	79,333	95,922	健康支援課
不育症・不妊症対策の強化	特定不妊治療および男性の不妊治療を助成の対象とし、経済的負担の軽減や不妊治療を受けやすい社会環境を整える。不育症検査の経済的負担を軽減し、不育症に悩む夫婦が早期に検査を受け、適切な治療及び出産につながるよう、検査費用の助成を行う。また、不育症についての周知啓発を行う。	975件（うち男性不妊治療は7件）	男性不妊治療費助成（初回）上限額15万円→30万円 増額 898件（うち男性不妊治療は8件）	特定不妊治療費助成（国制度） 1,110件（うち男性不妊治療は10件） 特定不妊治療費助成（市単独助成） 治療B 国制度に15万円上乗せ 118件 治療A・D・E 国制度に10万円上乗せ 145件 不育症検査費助成 45件	154,621	231,993	健康支援課
三世代家族同居・近居の支援	少子化対策として、子育て世代が出産・子育てしやすい社会経済環境を実現するとともに、多世代交流を進め、高齢者の孤立防止や子育て世代の定住を支援することを目的として、三世代家族の同居・近居に必要な費用の一部を助成する。	1年目助成 66件 2・3年目 47件	1年目助成 55件 2・3年目 47件	1年目助成 66件 2・3年目 42件	33,783	33,687	高齢福祉課
かかりつけ医等発達障害対応力向上研修	発達障害の早期発見・早期支援を目的として、市内の医療従事者に対して、発達障害への対応力向上に資する研修を実施する。	・研修実施 2回 ・講師養成研修受講者 延べ7名	・研修実施 1回 ・講師養成研修受講者 延べ3名	・研修実施 2回 ・講師養成研修受講者 延べ8名	105	248	障害者自立支援課
エンゼルヘルパー派遣	妊娠中や出産後間もない時期に、身の回りの世話や乳児の育児を援助するエンゼルヘルパー事業を拡充する。	利用回数 1,584回	利用回数 1,743回	【利用対象者・機関・回数を拡充】 対象者 介助者がいない母のみ→父子のひとり親家庭、父親が育児休業中の勝ち得、祖父または祖母が育児をする場合なども利用可 利用期間 産後6か月未満→産後1年未満 利用回数 上限20回→上限30回 利用見込み回数 2,797回	8,090	12,965	幼保支援課
結婚新生活支援	少子化対策の強化並びに若年層の人口流入及び定住促進を図るため、結婚を機に千葉市へ移転される新婚世帯に対し、婚姻に伴う住居費及び引越費用の一部を補助する。	32件補助。	・18件補助。 ・関連事業と併せ、住宅情報業界等への情報提供や各種団体等への周知依頼など効果的な広報を実施。	・30件補助。 ・関連事業と併せ、住宅情報業界等への情報提供や各種団体等への周知依頼など効果的な広報を実施。	9,000	9,000	住宅政策課
小児・周産期医療の充実	市立海浜病院において、妊娠から出産、さらに新生児から学童期までを含めた総合的な母子医療への対応として、小児・周産期医療の充実に取り組む。	医療機器の購入 インファントフローサイパップ 2台 分娩台 2台 新生児用人工呼吸器 1台	医療機器の購入 分娩監視装置 1台 生体情報モニタ 2台 検診台 1台	医療機器の購入 生体情報モニタ 6台 分娩監視装置 1台 診療ユニット 3台	8,714	20,031	経営企画課 海浜病院事務局

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略3. 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力にあふれたまちづくり

(単位：千円)

施策(1) 妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
ファミリーブックタイム運動の啓発及び推進	読み聞かせや親子の読書について知識を深める講座等を開催し、本を読む人を育み、豊かな心の広がりや考えを持つ子どもの成長につなげていく。また、身近に本に接する機会を提供するなど、多忙な子育て世代の親子の読書環境の改善と読書率の向上を図る。	・「ファミリーブックタイム事例集」の発行・配布（4か月児向け 8,400部、小学校新入学児童向け 10,000部） ・イクメンハンドブック（育男手帳）に、妊娠期向け事例集を掲載。 ・子ども読書まつりの開催（中央館は11/11開催） ・読み聞かせ入門講座の実施（2回開催）	・「ファミリーブックタイム事例集」の発行・配布（4か月児向け9,000部、小学校新入学児童向け 11,000部） ・イクメンハンドブック（育男手帳）に、妊娠期向け事例集を掲載。 ・子ども読書まつりの開催（中央館は11/10開催） ・読み聞かせ入門講座の実施（2回開催、6/6,6/13）	・「ファミリーブックタイム事例集」の発行・配布（4か月児向け9,000部予定、小学校新入学児童向け 11,000部予定） ・イクメンハンドブック（育男手帳）に、妊娠期向け事例集を掲載。 ・子ども読書まつりの開催（中央館は11月開催予定） ・読み聞かせ入門講座の実施（2回開催予定）	384	434	中央図書館管理課
【新規】子宮頸がん予防対策	子宮頸がんについての正しい知識の普及を図るため、HPVワクチン及び子宮がん検診についてリーフレットの作成及び市民を対象とした公開セミナーを開催する。また、HPVワクチン接種に関する情報提供チラシを個別送付する。		—	1 リーフレットの作成 2 市民公開セミナーの開催 3 情報提供チラシの個別送付	—	600	医療政策課
【新規】児童養護施設一時保護専用施設整備	児童の状況に応じた適切な一時保護を実施するため、児童養護施設における一時保護専用施設の整備費を助成する。	—	—	児童養護施設1施設における整備への助成を行うとともに、年度途中から一時保護委託を開始する予定。	—	29,400	子ども家庭支援課
【新規】乳児院小規模化	家庭環境での養育を推進するため、乳児院の小規模グループケアに係る改修費を助成する。	—	—	20人×1グループから5人×4グループの養育単位への変更に必要な整備に対する助成を行う。	—	102,000	子ども家庭支援課

(単位：千円)

施策(2) 充実した教育・保育の提供							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
子どもルームの拡充	放課後の遊びや生活の場を提供する子どもルームの整備・運営を行う。また、待機児童解消に向けた施設整備などを実施する。	低学年の待機児童解消に向けた施設整備を10か所行った。	待機児童解消に向け施設整備2か所、実施設計4か所を行うとともに保育環境改善のため施設改善4か所を行う。	待機児童解消に向け施設整備10か所、実施設計3か所を行うとともに保育環境改善のため施設改善4か所を行う。	2,958,038	3,664,533	健全育成課
民間事業者による放課後等の遊びや生活の場の提供への支援	民間事業者が実施する放課後児童健全育成事業の安定的な運営を確保し児童の健全育成を図るため、運営経費の一部を助成する。	4事業者に対して、運営費の一部を助成。	9事業者に対して、運営費の一部を助成する。	13事業者に対して、運営費の一部を助成する。	107,445	114,511	健全育成課
民間保育園等の整備	増加する保育重要に対応するため、国有地を活用した民間保育園の新設や私立幼稚園の認定こども園の移行に関する支援を行うとともに、保育園の賃借料が一定額以上となる場合に、地域を限定して賃借料の一部を助成するなど、施設整備を進める。	・幼稚園の認定こども園移行 8か所 110人増 ・認定こども園定員増 1か所 52人増 ・認可外保育施設の認可化 4か所 129人増 ・小規模保育事業 10か所 166人増 ・家庭的保育事業 1か所 3人増 ・保育所新設等 17か所 734人増 ・定員変更 4か所 51人増 ・公立保育所の建替え 2か所 20人増 ・市原市との共同整備 1か所 3人増 合計 42か所 1,268人増 ・開演前賃借料補助 2か所 ・開園後賃借料補助 7か所 (市原市との共同整備(1か所3人分)は、子ども・子育て支援環境の整備に係る市原市・四街道市との広域連携の中にも計上)	・幼稚園等の認定こども園移行 3か所 35人増 ・認定こども園定員増 5か所 60人増 ・認可外保育施設の認可化 2か所 79人増 ・小規模保育事業 7か所 117人増 ・事業所内保育事業 1か所 7人増 ・保育所等定員増 4か所 30人増 ・保育所新設等 10か所 475人増 合計 32か所 803人増 ・開園後賃借料補助 24か所	・幼稚園の認定こども園移行 9か所 150人増 ・認可外保育施設の認可化 7か所 123人増 ・小規模保育事業 7か所 133人増 ・事業所内保育事業 3か所 36人増 ・保育所定員増 2か所 60人増 ・保育所新設等 4か所 236人増 合計 32か所 738人増 ・開演前賃借料補助 3か所 ・開園後賃借料補助 1か所	670,470	668,000	幼保支援課
多様な保育需要への対応	病気回復期にあるため、保育所などに通えない児童などを一時的に預かる病児・病後児保育実施施設を増設するとともに、一時預かり事業、休日保育事業及び土曜日の延長保育事業の実施施設を拡大する。	病児・病後児保育実施施設数 8か所→9か所 一時預かり事業延利用見込み児童数54,370人	病児・病後児保育実施施設数 9か所 一時預かり：60園で実施	病児・病後児保育実施施設数 9か所→10か所 一時預かり：一般型34個所、余裕活用型30か所 休日保育：9園で実施予定 延長保育：土曜日の延長保育を6園で実施予定	1,177,196	1,307,659	幼保支援課 幼保運営課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略3. 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力にあふれたまちづくり

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
幼児教育の推進体制構築	子どもの発達や学びの連続性を確保するため、アプローチカリキュラムの作成や普及、家庭と保護者に対する啓発・支援などにより、幼児教育と小学校教育の接続の強化を図るとともに、認定こども園・幼稚園・保育所を通じた幼児教育の質の向上を図る。	アプローチカリキュラムの作成・普及 幼保小間の連携・交流活動の普及・定着化 家庭と保護者に対する啓発・支援	アプローチカリキュラムの作成・普及 幼保小間の連携・交流活動の普及・定着化 家庭と保護者に対する啓発・支援	アプローチカリキュラムの普及 幼保小間の連携・交流活動の普及・定着化 家庭と保護者に対する啓発・支援	1,056	1,089	幼保支援課
私立幼稚園等未就園児預かり事業補助	保育所などに在籍しない2歳児などが、集団生活を体験する機会を拡大するとともに、専業主婦（夫）家庭などの育児負担を軽減するため、私立幼稚園などが実施する未就園児預かり事業を助成する。	実施 20園	実施 20園	実施 20園	10,000	10,000	幼保支援課
保育士等の確保	保育士などを確保するため、保育士等給与改善事業、保育士修学資金等貸付、資格取得支援、潜在保育士などの再就職支援、宿舍借上げに対する助成などを行う。	①保育士試験による資格取得支援 0件 ②保育士資格取得支援 0件 ③保育教諭確保のための資格取得支援 5件（支援課分含む） ④潜在保育士・看護師再就職支援研修を実施 ⑤保育士養成施設新卒者確保 ⑥問題解決相談員 弁護士1人、臨床心理士1人を配置 ⑦保育士修学資金貸付 43件 ⑧保育士等給与改善 2404件 ⑨宿舍借上げ支援 255件	①保育士試験による資格取得支援 0件 ②保育士資格取得支援 0件 ③保育教諭確保のための資格取得支援 0件（支援課分含む） ④潜在保育士・看護師再就職支援研修を実施 ⑤保育士養成施設新卒者確保 ⑥問題解決相談員 弁護士1人、臨床心理士1人を配置 ⑦保育士修学資金貸付 59件 ⑧保育士等給与改善 3027件 ⑨宿舍借上げ支援 350件	①保育士試験による資格取得支援 9件 ②保育士資格取得支援 2件 ③保育教諭確保のための資格取得支援 12件（支援課分含む） ④保育士修学資金貸付 57件 ⑤保育士等給与改善 2773件 ⑥宿舍借上げ支援 331件	1,105,749	1,169,154	幼保運営課
保育士等サバティカル研修	保育園などを対象に、一定期間職場を離れ、研究などを行う「サバティカル研修」を、保育士を養成する市内の三短大との連携により実施する。	研修代替職員助成を実施 千葉市実施事業として三短大にて委託実施。 9分野（各4日間）	①研修代替職員助成を実施 ②千葉市実施事業として三短大にて委託実施。 7分野（各4日間）	①研修代替職員助成を実施 ②千葉市実施事業として三短大にて委託実施。 9分野（各4日間）を予定	3,400	1,872	幼保運営課
学校教育審議会の設置運営	複雑化・高度化する学校教育の課題に的確に対応するため、市民や有識者などの意見を十分に聴取し、学校教育に関する重要な施策を推進することを目的に附属機関を設置・運営する。	年4回実施	年2回実施	年4回実施	303	887	企画課
学校の適正規模・適正配置の推進	児童生徒のより良い教育環境を整備し、教育の質を充実させるため、学校適正配置を推進する。また、作成した啓発パンフレットを小規模校の保護者に配布し、適正配置に対する保護者、教員の理解を深める。	・統合準備：1地区 ・協議継続：2地区 ・啓発パンフレットの配布 ・第3次実施方針の策定	・統合準備：1地区 ・協議継続：2地区 ・啓発パンフレットの配布	・統合準備：3地区 ・協議開始：1地区 ・啓発パンフレットの配布	31	181	企画課
【完了】 県費負担教職員の給与負担等の移譲を活用した独自の学級編制及び非常勤講師の配置	県費負担教職員の給与負担等の移譲にあわせ、少人数学級の拡充等市独自の学級編制及び教員配置を実施するほか、より効果的・効率的な非常勤講師（音楽教育や理数教育等）の配置を実施する。 （県費負担教職員の給与負担等の移譲はH29年度をもって完了。移譲にあわせて実施した事業を引き続き実施。）	県費負担教職員の給与負担等の移譲はH29年度をもって完了。 移譲にあわせて実施した事業を引き続き実施。					教育職員課 他
スクール・サポート・スタッフ配置	地域の人材を活用し、学習プリントの印刷、家庭への配付文書の印刷・仕分け、パソコンへのデータ入力など、教員に代わって行うサポートスタッフを配置する。	配置数 中学校 3人	配置数 中学校 3人	配置数 中学校 18人	4,001	37,520	教育職員課
学校と地域の連携・協働体制の整備	学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備するため、学校支援地域本部等の設置を進める。	新たに4地区10校に学校支援地域本部を設置	新たに10校に学校支援地域本部を設置した	新たに10校に学校支援地域本部を設置する見込み	2,204	2,172	学事課
市立高校のグローバルハイスクール化の推進	市立稲毛高等学校では、国際理解教育に取組み、スーパーグローバルハイスクール（SGH）を目指して、大学との連携を進めるなど、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を推進する。	本市の課題やまちづくりをテーマとした1年生の課題研究と国内外の調査活動を中心とする2年生の異文化理解講座等を融合させた研究活動成果発表会の実施	市立稲毛高等学校が文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に採択されたことを受け、千葉市や各大学等と連携して、本市の課題やまちづくりをテーマとした1年生の課題研究や、国内外の調査活動を中心とする2年生のSDGsリサーチプロジェクトを実施。その成果を「研究活動成果発表会」で発表	文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」の事業として、千葉市・大学・団体等コンソーシアムと連携した本市の課題を発見しその解決方法を探究する1年生の課題研究や、2年生の海外研修において調査活動を中心とする探究活動を実施する。その成果を「総合的な探究の時間」「総合的な学習の時間」の「成果発表会」で発表し、大学教授等から指導・助言をいただく。	2,632	3,414	教育改革推進課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略3. 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力にあふれたまちづくり

（単位：千円）

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
市立高校の理数教育の充実	市立千葉高等学校では、先進的な理数教育に取組み、文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として、大学との連携を進めるなど、国際的に活躍できる科学技術人材の育成を推進する。	英語による研究成果発信のための、外国人講師増員（1名） 第3期SSH2年目として、「社会とつながる探究」をテーマとした探究活動を実施（1年普通科全生徒対象） 重点枠の採択を受け、SSH事業の成果を地域に普及させるため、フィールドワークや成果発表会等を実施した。	第3期SSH事業基礎枠の3年目、重点枠2年目として、科学技術人材の育成に向けた教育課程の進化、高大接続カリキュラム開発、先進的なフィールドワーク等を実施し、SSH事業の成果を地域に普及させる。総合的な学習の時間で「社会とつながる探究」をテーマとした探究活動や、地域の小・中・高校生を対象としたポスターセッションやパワーポイント等による研究成果発表会を開催	第3期SSH事業基礎枠4年目。重点枠3年目を迎え、科学技術人材の育成に向けた教育課程、特にクロスカリキュラムや高大連携及び高大接続カリキュラムの拡大、深化を目指す。小・中・高校生対象の研究成果発表会やモノレール会社の協力により、SSH事業の成果を地域にさらに広める。日本語及び英語による自己表現能力の向上を目標とし、日ごろの授業や探究活動を充実させる。	5,004	5,264	教育改革推進課
小学校英語教育の充実	学習指導要領改訂による、小学校英語の教科化などに対応するための学習環境整備として、外国人講師の配置を拡充するとともに、英語教育支援員（イングリッシュ・サポーター）を新たに配置する。	【新規】英語教育支援員の配置：12人 【拡充】外国人講師の配置拡充： 小学3・4年 0時間⇒18時間 小学5・6年 30時間⇒35時間	英語教育支援員の配置：12人 外国人講師の配置：小学3・4年 18時間 小学5・6年 35時間	英語教育支援員の配置：12人 3年配置予定の3年目で、各区2名ずつ、合計12名の配置を予定 外国人講師の配置：小学3・4年 18時間 小学5・6年 35時間	138,315	14,586	教育指導課
郷土教育の推進	本市に愛着、誇りを感じてもらえるよう、「都市アイデンティティ戦略プラン」等と連携し、郷土の歴史や人物を題材に郷土教育を推進する。	・漫画「千葉常胤公ものがたり」の活用呼掛け ・「加曾利貝塚」「千葉氏」「千葉空襲」等の地域教材の社会科授業での扱い、博物館の活用について、全小中学校に周知する。	・漫画「千葉常胤公ものがたり」の活用呼掛け ・「加曾利貝塚」「千葉氏」「千葉空襲」等の地域教材の社会科授業での扱い、博物館の活用について、全小中学校に周知する。 ・小学校社会科副読本「わたしたちの千葉市」を全面改訂し、本市の4つのアイデンティティを紹介するページの充実等、千葉市に関する事例を拡充する。	・漫画「千葉常胤公ものがたり」、副読本「千葉市の海辺～遠浅のうみ 豊かなめぐみ」（5年生配布）の活用呼掛け ・「加曾利貝塚」「千葉氏」「千葉空襲」等の地域教材の社会科授業での扱い、博物館の活用について、全小中学校に周知する。 ・小学校社会科副読本「わたしたちの千葉市」（3年生）全面改訂版の活用 ・中学校社会科副読本「伸びゆく千葉市」の活用 ・小学校社会指導資料の見直し（地域教材の開発）	7,033	12,863	教育改革推進課
小中連携・一貫教育の推進	小・中学校の円滑な接続や学力向上を図るため、小中一貫教育に取り組む。	小中一貫教育モデル校設置準備 研究指定校1中学校区（幸三小・幸二中） モデル校の拡充準備	小中一貫教育モデル校設置（川戸小・川戸中） モデル校の拡充準備	川戸小中学校は、今年度小中一貫教育モデル校として、これまでの取組を見直し、改善し、来年度から小中一貫教育校となる準備をした。来年度は、この他に2校の小中一貫教育モデル校を設置する。	—	—	教育改革推進課
キャリア教育の推進	市民の生活基盤確立と都市を支える人材の育成・確保のため、特に雇用等の社会ニーズを踏まえた取組みが進むよう、職業体験や進路指導体制の充実など、教育課程でのキャリア教育の見直しを進める。	・キャリア教育推進連携会議（10/15、2/18本会議、6/4WG）実施 ・キャリア教育主任会実施（7/3） ・産業系専門高校紹介リーフレット作成（中学生・保護者向け） ・進路学習時の講演会、体験会を拡充（9校10回） ・キャリア教育ガイドブックを活用した教職員の意識向上	・キャリア教育推進連携会議（本会議2回、WG数回）実施 ・キャリア教育主任会実施（6/19 予定） ・産業系専門高校紹介リーフレット作成（中学生・保護者向け） ・進路学習時の講演会、体験会を拡充（20校(10校拡充)予定） ・キャリア教育ガイドブックを活用した教職員の意識向上	・キャリア教育推進連携会議（本会議2回、WG必要回）実施 ・キャリア教育主任会実施（6/19 予定） ・産業系専門高校紹介リーフレット作成（中学生1・2年生向け） ・進路学習時の講演会、体験会を拡充（25校(5校拡充)予定） ・キャリア教育ガイドブックを活用した教職員の意識向上	3,011	4,921	教育改革推進課 課 雇用推進課
スクールソーシャルワーカーの活用	教育と福祉の両面に関して専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒が置かれた環境の改善を支援する。	スクールソーシャルワーカー6人を配置し、学校からの派遣申請を受けて、事案に対応する	スクールソーシャルワーカーを8人に増員し、学校からの派遣申請を受けて事案に対応する。	スクールソーシャルワーカーを10人に増員するとともに、配置時間を拡充し、学校からの派遣申請を受けて事案に対応する。	17,334	37,049	教育支援課
教育情報ネットワーク（CABINET）更新	平成23年2月から稼働している教育情報ネットワーク（CABINET）について、老朽化及び保守物品の提供終了などにより、システムの維持が困難なことから、更新を行う。	平成23年1月の更新に向け、システム賃貸借の契約締結	システム構築（設計・校内LAN工事・設置）、10月より試験運用開始、令和2年1月より正式稼働を開始。旧校務システムは3月まで並行稼働。1月より旧システムの第1次機器回収作業開始（コンピュータ室用PC、コンピュータ室用プリンタ等）。	4月の旧校務システム運用停止により、新システム（第2次CABINET）の完全稼働開始となる。5月に旧システムの第2次機器回収作業（ノート型PC、職員室用プリンタ等）。	266,059	1,064,236	教育センター
スクールメディカルサポート	千葉市立の小学校、中学校及び特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童生徒のうち、保護者の全面支援が難しい場合、かつ児童生徒の自己対応が難しい場合に対して医療行為を行うメディカルサポーターを派遣する。	メディカルサポーター 4人 8校8人に派遣	メディカルサポーター 6人 7校7人の児童生徒に派遣	メディカルサポーター 6人 6校6人の児童生徒に派遣予定	10,835	18,964	養護教育センター
放課後子ども教室推進	放課後子どもプランにより放課後施策を総合的・計画的に推進する。放課後子ども教室・子どもルーム一体型事業はアフタースクール事業として本格実施するとともに、実施校拡大に向けた開設準備を行うなど、支援体制を強化する。	市内小学校 110校 （うち活動支援モデル校 17校） 参加児童数 6,302人 一体型 1校 登録児童数 90人 放課後子どもプランを策定	市内小学校 105校 （うち活動支援モデル校 17校） 登録児童数 7,000人 一体型 6校 登録児童数 684人	市内小学校 98校 （うち活動支援モデル校 17校） 登録児童数 6,700人 アフタースクール 12校 登録児童数 1,138人	215,406	415,452	生涯学習振興課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略3. 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力にあふれたまちづくり

（単位：千円）

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
SNSを活用した教育相談	様々な悩みを抱える子供たちに対し、SNSを活用した相談体制を構築し、いじめや不登校等の未然防止や早期発見、生徒指導上の諸問題の深刻化を防止する。	対象者：千葉市立学校の中高校生（約25,000人のうち希望者） 相談期間：平成30年10月26日（金）～平成31年1月31日（木）の毎日 相談時間：17:00～21:00まで 相談件数：1,010件	対象者：千葉市立学校の中高校生（約25,000人のうち希望者） 相談期間：平成31年5月7日（火）～平成32年3月21日（土）までの週2日 相談時間：17:00～21:00まで	対象者：千葉市立学校の中高校生（約25,000人のうち希望者） 相談期間：令和2年5月～令和3年3月までの週2日 相談時間：17:00～21:00まで	8,700	7,939	教育支援課
スクールカウンセラー活用	いじめや不登校など児童生徒の不安や悩みの解消を図るため、スクールカウンセラーの配置体制を充実させる。	小学校には拠点・巡回方式で36校から72校に配置を拡充させた。 中学校は全校に配置済み。 ※拠点・循環方式：小学校に12名を配置し、一人のカウンセラーが1校の拠点校と5校の巡回校を担当	1人が複数校を担当し、全小学校111校と全特別支援学校3校に配置を行なう予定。中学校は全校に配置済み。	高校2校にも配置するとともに、小学校の大規模校等(43校)への配置時間を拡充させる。	167,589	177,945	教育支援課
幼稚園型一時預かり（2歳児）	保育が必要な2歳児の受入を促進するため、一時預かりを実施する幼稚園に対して助成する。	—	私立幼稚園 10園	私立幼稚園 2園	—	11,176	幼保支援課
民間保育園等巡回指導	民間保育園の増加に伴い保育の質の確保と更なる向上のため、公立保育所OB等の嘱託職員を配置し、定期的な巡回指導を行う。 ・保育士による保育内容等についての助言、指導 ・栄養士による給食、食物アレルギー対応等についての助言、指導 ・看護師による保健衛生に関する助言、指導	民間保育園等216か所を対象に実施 平成31年3月末時点 保育士による巡回：971回 栄養士による巡回：196回 看護師による巡回：273回	民間保育園等255か所を対象に実施	民間保育園等276か所を対象に継続実施予定	42,081	42,496	幼保運営課
帰国・外国人児童生徒教育の充実	日本語指導が必要な児童生徒への支援のため、学校の要請に応じた「外国人児童生徒指導協力員」の派遣、小学生を対象とした「外国人児童指導教室」、中学生を対象とした「日本語指導通級教室」の設置により、個々に応じた指導を行う。	外国人児童生徒指導協力員 11人 外国人児童指導教室 2か所 日本語指導通級教室 1か所	外国人児童生徒指導協力員 13人（2人増員） 外国人児童指導教室 2か所 日本語指導通級教室 2か所（1か所増設）	外国人児童生徒指導協力員 13人 外国人児童指導教室 2か所 日本語指導通級教室 2か所	50,418	53,188	教育指導課
幼児教育・保育の無償化	子育て世代の負担軽減を図るため、消費税率引上げによる財源を活用し、令和元年10月から、保育所等の利用料を無償化を実施。	—	○対象施設等 保育所・園、幼稚園、認定こども園、地域型保育、預かり保育、認可外保育施設、一時預かり、病児保育、ファミリー・サポート・センター等 ○対象児童 3歳以上：全て 3歳未満：市民税非課税世帯（いずれも保育の必要性の認定が必要）	○対象施設等 保育所・園、幼稚園、認定こども園、地域型保育、預かり保育、認可外保育施設、一時預かり、病児保育、ファミリー・サポート・センター等 ○対象児童 3歳以上：全て 3歳未満：市民税非課税世帯（いずれも保育の必要性の認定が必要）	1,847,046	2,783,306	幼保支援課 幼保運営課
公立保育所への保育業務支援システムの導入	ICTシステムの導入により保育従事職員の事務負担の軽減をめざし、保育に充てる時間を増やすことでサービスの質の向上を図る。	—	○対象施設 市立の保育所、保育所型認定こども園 ○対象者 保育所従事職員、一部保育利用保護者	○対象施設 市立の保育所、保育所型認定こども園 ○対象者 保育所従事職員、一部保育利用保護者	8,524	37,343	幼保支援課
【新規】 学校敷地外のルームへのAEDの設置	学校敷地外の子どもルームへのAED設置により、利用児童の安全・安心を確保する。	—	—	学校敷地外の37か所のルームにおいて、リース契約により設置。	—	5,000	健全育成課
【新規】 保育の質に関する実態調査及び有識者意見聴取	保育者の質に着目し、保育者が働きたい・働き続けたいと思える環境を整えることで、保育の質向上を図る。 保育者や保育施設等の現状把握、保育の質向上施策の成果指標設定等のため、実態調査を実施する。	—	—	・R2.5～ ・R2.11 有識者等からの意見聴取を実施予定 実態調査を実施予定	—	7,000	幼保支援課
【新規】 外国人児童・保護者対応職員配置	外国人児童・保護者及び保育者の負担軽減を図るため、日本語が堪能でない外国人児童・保護者に対応する通訳事務兼保育補助員の会計年度任用職員を、外国人入所児童数が特に多い公立保育所に配置する。	—	—	保育所数 3か所で実施予定 配置人数 3人（各保育所1人ずつ） 配置時間 週20時間（1日4時間×5日）	—	4,255	幼保運営課
【新規】 公立保育所使用済紙おむつ廃棄	公立保育所の使用済紙おむつについて、保護者及び保育者の負担を軽減するため、新たに各保育所での廃棄を実施する。	—	—	保育所数 57か所（保育所55か所、認定こども園2か所） 一般廃棄物処理委託 週2日	—	13,000	幼保支援課 幼保運営課
【新規】 新設小学校基本計画策定	住宅開発が進む美浜区若葉住宅地区における良好な教育環境を確保するため、新設小学校建設の検討を進め、基本計画を策定する。	—	—	基本計画の策定	—	10,000	教育委員会企画課 学校施設課
【新規】 フリースクール等に通う児童生徒に対する経済的支援	不登校児童生徒がフリースクール等に通う際の交通費や実習費などを新たに助成する。	—	—	4月～随時 学校に申請 教育委員会が認定 年度末に保護者の指定口座に振り込み	—	2,539	学事課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略3. 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力にあふれたまちづくり

(単位：千円)

施策(2) 充実した教育・保育の提供							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
【新規】 夜間中学設置に向けたニーズ調査	不登校児童生徒や外国籍の方など、様々な事情により十分な教育を受けられていない方に対応するための夜間中学の設置について、ニーズ調査などを実施する。	—	—	5～6月 ニーズ調査・夜間中学体験セミナー開催 7～9月 設置検討委員会で、夜間中学設置の検討	—	400	企画課
【新規】 スクールロイヤーによる法律相談体制の整備	スクールロイヤーを配置することで、解決困難事案が発生した際に、学校からの法律相談体制を強化し、解決に向けた支援を行う。	—	—	教職員への研修：年5回 法律相談：年20日	—	825	教育支援課
【新規】 科学館展示リニューアル	開館以来、12年余が経過し、展示品に劣化・陳腐化が進んでいる。「科学都市ちば」の実現を強力に推し進めるため、科学館展示リニューアルを実施していく。	—	—	科学館展示リニューアル設計	—	2,700	生涯学習振興課

(単位：千円)

施策(3) 若さにあふれた活気あるまちづくり							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
子ども・若者に対する文化芸術の振興	高校生を中心に、発表の機会や技術向上の場を提供する「おススメカルチャー・プラットフォーム」を実施して若者の文化活動を支援するほか、「こども創造体験プログラム」として、幼稚園等にミュージシャンを派遣する「こどもミュージックプロムナード」や、子どもの発想や創造性を育む参加体験型のワークショップ「こども創造体験教室」を実施する。小学生を対象にメディア芸術をより身近に体験してもらうためのワークショップを開催する。	●Cフェス2019を開催：高校生の軽音楽の技術向上の場や発表の機会の提供を行った。(練習期間:平成30年11月1日～平成31年.2月16日、本番ライブ:平成31年2月17日) 本番ライブ参加者：【観客】110人、【高校生出演者】52人 ●こどもミュージックプロムナード 次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場を提供する。 実施回数：12回 場所：市内幼稚園12か所 ●こども創造体験教室 次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場として、参加体験型のワークショップを全6回実施する。 ●メディア芸術振興事業ワークショップ「ななめな学校」：小学生を対象としたメディア芸術のワークショップを開催(開催：はまのわ(旧高浜第2小学校)2日間、鎌取CC2日間)	●Cフェス2020を開催：高校生の軽音楽の技術向上の場や発表の機会の提供を行った。(練習期間 令和元年11月1日～令和2年.2月8日、本番ライブ 令和2年2月9日) 本番ライブ参加者：観客 120人、高校生出演者 64人、司会者1人、講師者 3人 ●こどもミュージックプロムナード 次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場を提供する。 実施回数：12回 場所：市内幼稚園または保育園12か所 ●こども創造体験教室 次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場として、参加体験型のワークショップを全2回実施する。 ●メディア芸術振興事業ワークショップ「ななめな学校」：小学生を対象としたメディア芸術のワークショップを開催(開催：千葉市生涯学習センター)	●仮「Cフェス2021」を開催：開催時期等は今後、実行委員会と協議の上、決定する。 ●こどもミュージックプロムナード 次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場を提供する。 実施回数：14回 場所：市内幼稚園または保育園14か所 ●こども創造体験教室 次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場として、参加体験型のワークショップを全2回実施する。 ●メディア芸術振興事業ワークショップ「ななめな学校」：「千の葉の芸術祭」にて実施予定※予算についても「千の葉の芸術祭」で計上	4,082	2,530	文化振興課
大規模音楽イベント出場支援	若者の文化芸術への参加を促進するため、市内開催の大型ロックフェスの出場権をかけたオーディションを実施する。	JAPAN JAM 2018に向けて、公開オーディションの実施し、3バンドがJAPAN JAM 2018の出場権を得た。 ・開催日：平成30年4月7日 場所：市内ライブハウス JAPAN JAM 2019に向けて、参加者の募集、公開オーディション開催し、3バンドがJAPAN JAM 2019の出場権を得た。 ・開催日：平成31年3月30日 場所：市内ライブハウス	JAPAN JAM 2020の出場権をかけて、参加者の募集、公開オーディション開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、音源等の審査に変更した。	ベイエフエムと協議の上、決定する。	550	550	文化振興課
こどもの参画の推進	子どもの社会の一員としての自覚と自立を促し、こどもの参画によるまちづくりを実現するため、各種参画の取組みを実施するとともに、本市の取組みを広く発信する。	CBT 899人 CCFC 152人 サミット参観者 177人	CBT 1,067人 CCFC 291人	CBT 1,000人 CCFC 300人 サミット参観者 200人	1,417	1,841	こども企画課
プレーパークの開催支援	プレーリーダーと呼ばれる大人が見守る中で、「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、子どもたちの自主性や冒険心を育む場である「プレーパーク(冒険遊び場)」を増やすため、市民が主体となったプレーパーク運営団体に対してプレーリーダーの派遣等の支援を行う。	16,081人	17,879人	16,000人	7,344	7,358	こども企画課
ちばっ子商人(あきんど)育成スクール(再掲)	小中高校生を対象に、将来の職業選択の一つとして自ら起業することを意識づけるため、大学や企業、地元商店などと連携して、実体験により経済の仕組みを学ぶことができる講座などを開催する。	参加者数：1,025名 【内訳】 西千葉子ども起業塾 参加者：26名 中学生のための起業体験講座 参加者：4名 幕張新都心ビジネススクール 定員：10名 夏休みおしごと感動体験 参加者:985名	参加者数：1,080名程度 【内訳】 西千葉子ども起業塾 定員：20名程度 中学生のための起業体験講座 定員：30名程度 幕張新都心ビジネススクール 定員：30名程度 夏休みおしごと感動体験 定員:1,000名程度	参加者数：1,018名 【内訳】 西千葉子ども起業塾 定員：32名 中学生向け起業体験講座(軒先珈琲カフェ起業体験講座) 定員：20名 幕張新都心ビジネススクール 定員：7名 夏休みおしごと感動体験 定員:959名	1,421	3,000	雇用推進課
選挙権年齢の引き下げに伴う啓発	公職選挙法の改正により、選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられたことに伴い、啓発活動を行うことにより、選挙や政治への関心を高める。	・高校生向けの出前授業、小学生向けの模擬選挙を実施予定	・統一地方選挙の際に市内の小・中学生を対象に「親子で投票所に行こう！」キャンペーンを実施 ・高校生向けの出前授業、小学生向けの模擬選挙を実施	・高校生向けの出前授業、小学生向けの模擬選挙を実施予定	181	307	選挙管理委員会事務局



■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略4. 高齢者が心豊かに暮らせるまちづくり

（単位：千円）

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療と介護の一体的な提供及び連携の強化を図るため、「在宅医療・介護連携支援センター」を新たに設置するほか、在宅医療・介護連携の要となる訪問看護ステーションのケアの質向上及び経営安定化を図るため、研修の実施や運営マニュアルを策定する。	在宅医療・介護連携支援センターの設置	在宅医療・介護連携支援センターの運営	在宅医療・介護連携支援センターの運営 訪問看護ステーション連携促進・増強 ○運営マニュアルの策定 ○管理者向け研修会の実施	29,039	32,493	在宅医療・介護連携支援センター
認知症支援体制の強化	認知症の人やその家族が安心して地域で暮らし続けるため、認知症カフェへの助成などの取組みを進める。	認知症カフェ設置数（補助金交付団体数） ○新規設置カフェ 4か所（4か所） ○継続運営カフェ 25か所（8か所）	認知症カフェ設置数（補助金交付団体数） ○新規設置カフェ 3か所（3か所） ○継続運営カフェ 30か所（9か所）	認知症カフェ設置数（補助金交付団体数） ○新規設置カフェ 6か所（6か所） ○継続運営カフェ 42か所（20か所）	703	900	地域包括ケア推進課
認知症サポーター養成講座の開催による認知症に関する知識の普及、認知症サポーターの活躍促進	「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指し、小中学生向けサポーター養成講座など、多世代向け認知症サポーター養成講座の開催により、認知症に関する知識の向上を図ると共に、認知症の人やその家族への具体的な支援につながるよう認知症サポーターステップアップ講座等を開催する。	開催回数 187回 養成人数 9,692人	○認知症サポーター養成講座 開催回数 166回 養成人数 8328人 ○認知症ステップアップ講座 開催回数 3回 養成人数 34人 認知症サポーターを対象に認知症ステップアップ講座を実施し、認知症カフェでボランティア活動を実施。	開催回数 246回 養成人数 15,500人 認知症サポーターステップアップ講座開催数 6回 認知症サポーターステップアップ講座修了者交流会開催数 1回	4,387	1,630	地域包括ケア推進課
生活支援体制整備の推進	日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネーター機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的に、区域、日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置する。	生活支援コーディネーター設置数 中央区第1層 1人 中央区第2層 5人 その他5区第1層 各区2人	生活支援コーディネーター設置数 第1層 11人 （中央区 1人、その他5区 各2人） 第2層 5人 （中央区 5人）	生活支援コーディネーター設置数 第1層 8人 （中央区・稲毛区・若葉区・美浜区 各1人） （花見川区・緑区 各2人） 第2層 19人 （中央区・稲毛区・若葉区・美浜区） （各日常生活圏域 1人）	50,808	121,309	地域包括ケア推進課
生活支援・介護予防の基盤整備に係る協議体の設置	生活支援・介護予防の基盤整備のため、コーディネーター及びサービスの提供主体（町内自治会やボランティア団体等）が参画する「協議体」を行政区ごとに設置する。	中央区内のあんしんケアセンター圏域で第2層協議体を開催	第1層(区域)協議体設置数:6か所(各区1) 第2層(日常生活圏域)協議体設置数:5か所(各日常生活圏域1)	第1層(区域)協議体設置数:6か所(各区1) 第2層(日常生活圏域)協議体設置数:19か所(各日常生活圏域1)	—	—	地域包括ケア推進課
あんしんケアセンターの充実	地域における高齢者や家族の相談体制の充実を図るため、平成29年4月より、地域包括ケアシステムにおける中心的役割を担うあんしんケアセンターを6か所増設している。また、地域の中で、きめ細かく相談などに応じることができるよう、包括3職種など計画的に必要な職員を増員するとともに、各区高齢障害支援課にあんしんケアセンターの相互調整及び取りまとめ等の役割を受け持つよう体制の整備を行った。	包括3職種人数137人→141人に増員 各区の支援体制を3区→6区へ拡充 (H29:花見川、稲毛、緑→H30:全区)	包括3職種人数141人→143人	包括3職種人数143人→144人	897,501	955,379	地域包括ケア推進課
ケアマネジメントの充実	高齢者へのケアマネジメント体制を強化するため、地域ケア会議の充実を図るとともに、介護支援専門員のスキルアップのための研修を実施する。	自立支援強化に向けた地域ケア会議を実施 (各区年2回)	・自立支援強化に向けた地域ケア会議を実施 (各区年2回36事例検討) ・あんしんケアセンター向けケアマネジメント研修 実施回数1回(感染症により中止)	自立支援・介護予防のための地域ケア会議を実施 (各あんしんケアセンター2回程度実施 50事例検討) あんしんケアセンター向けケアマネジメント研修 実施回数1回	3,946	2,141	地域包括ケア推進課
認知症対応力向上研修の実施	歯科医師・薬剤師・看護職員向け認知症対応力向上研修を実施し、認知症の人とその家族を支援する体制を整備する。	各職種ごとに1回開催 1回あたりの最大受講者数 200人	各職種ごとに1回開催 (修了者数) 歯科医師:25人 薬剤師:(実施前) 看護職員:75人	各職種ごとに1回開催 1回あたりの最大受講者数 200人(ただし、看護職員は100人)	1,416	1,516	在宅医療・介護連携支援センター
地域支え合い型訪問支援・通所支援	要支援認定者等への生活支援サービスを提供する地域団体に対して、運営費を助成する。令和2年度より、運営費の単価を引き上げるとともに、基本費を助成する。	訪問サービス利用1人 通所サービス利用24人	訪問サービス利用 0人 通所サービス利用 16人	(訪問サービス) 基本費 事業所数 9カ所 運営費 利用人数 10人 (通所サービス) 基本費 事業所数 25カ所 運営費 利用人数 75人	258	3,898	高齢福祉課
介護人材の確保	・市内の介護施設などにおける人材を確保するため、介護職員初任者研修の受講費用の一部を助成する。介護未経験者が介護分野へ参入するきっかけとして入門的研修を実施する。求職者と市内介護事業者とのマッチングを目的として合同就職説明会を開催する。さらに、外国人介護人材の受入方法に関するセミナーの開催及び外国人介護人材向け日本語教室を実施し、市内事業所への外国人介護人材の普及を後押しする。また、介護離職を防止する為、入職3年以内の若手職員向けの交流会を実施する。 ・市内の学校を訪問して、児童・生徒向けに要介護状態の疑似体験学習などを実施し、介護の仕事を知るきっかけを作る。	・介護職員初任者研修受講者支援 助成者数58人 ・合同就職説明会 実施回数2回 (うち1回はハローワークちば主催・千葉市共催) ・介護キャラバン隊 実施校13校 (県予算で執行。市予算での実施は無し。)	・介護職員初任者研修受講者支援 助成者数41人 ・合同就職説明会 実施回数2回 ・介護キャラバン隊 実施校12校 (県予算で執行。市予算での実施は無し。) ・介護職員交流会 実施回数1回 ・外国人介護人材受入セミナー 実施回数1回	・介護職員初任者研修受講者支援 助成者数100人 ・合同就職説明会 実施回数2回 ・外国人介護人材受入セミナー 実施回数1回 ・外国人介護人材向けの日本語教室 全12回×2クラス ・介護職員交流会 実施回数1回 ・介護に関する入門的研修 実施回数1回 ・介護キャラバン隊 実施校15校	2,355	13,813	介護保険管理課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略4. 高齢者が心豊かに暮らせるまちづくり

(単位：千円)

施策(1) 地域包括ケアシステムの構築・強化							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
介護ロボットの普及促進	介護従事者の負担軽減のため、大学やメーカーなどとの連携により、介護ロボットの普及促進に向けた取組みを行う。	・装着介護ロボットの貸与 貸出回数 2台 貸出先 4事業所 ・介護ロボットセミナー・展示デモンストレーション 実施回数1回	・装着介護ロボットの貸与 貸出回数 2台 貸出先 4事業所 ・介護ロボットセミナー・展示デモンストレーション 実施回数1回	・装着介護ロボットの貸与 貸出回数 2台 貸出先 4事業所 ・介護ロボットセミナー・展示デモンストレーション 実施回数1回	2,354	2,787	介護保険 管理課
特別養護老人ホーム整備費助成	千葉市高齢者保健福祉推進計画等に基づき、社会福祉法人が行う特別養護老人ホームの整備に対し補助金を交付することで、計画的な介護基盤整備の促進を図る。	160床分を整備する事業者（複数）の選定を行った。	180床分を整備する事業者（2事業者）の選定を行った	220床分を整備する事業者（複数）の選定を行う予定	331,400	916,992	介護保険 事業課

(単位：千円)

施策(2) 健康づくりの推進による健康寿命の延伸							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
シニアリーダー活動の推進	地域で自主的な介護予防活動を推進するシニアリーダーの活動（シニアリーダー体操教室等）を支援するため、各区シニアリーダー連絡会に経費に対する助成制度を設け活動を支援する。	講座受講者数 150人 地域の自主活動会場 191か所	講座受講者数 123人 地域の自主活動会場 205か所 活動補助金 200千円(各区シニアリーダー連絡会)	講座受講者数 240人 地域の自主活動会場 205か所 活動補助金 200千円(各区シニアリーダー連絡会)	21,505	22,042	健康推進 課
認知症初期集中支援チームの増設	医療機関と連携し、訪問看護師や作業療法士からなる認知症初期集中支援チームを増設する。	認知症初期集中支援チーム数 4チーム	認知症初期集中支援チーム 5チーム	認知症初期集中支援チーム 6チーム	29,712	41,442	地域包括 ケア推進 課
100年を生きる健やか未来都市の推進	健康寿命を延伸し、誰もが健康でいきいきと暮らせる社会を実現するため、人生100年時代や、重点的に取り組む項目について、広報・啓発活動を行う。	「健やか未来都市ちばプラン」に基づき、「人生100年時代」や、重点的に取り組む項目（育児不安の軽減・運動と食生活・社会的なつながり・減塩・禁煙）に関する広報プランを策定	千葉市健康大使を任命するとともに、キャッチフレーズ及びロゴマークを策定し、これらを活用した広報・啓発活動を実施。	引き続き大使及びキャッチフレーズ・ロゴマークを活用した広報啓発活動を実施。	5,000	11,000	健康推進 課
がん検診	疾病の早期発見・早期治療を図るため、がん検診を行う。	がん検診等受診者数：325,514人	がん検診等受診者見込み数：318,588人	がん検診等受診者見込み数：327,712人	1,637,071	1,686,726	健康支援 課
運動による健康づくりの促進	本市の健康増進計画である「健やか未来都市ちばプラン」により、市民の健康づくり運動を総合的に推進し、健康寿命の延伸を図る。 また、地区組織向けインセンティブ授与や運動イベントなど、地域や職場における健康づくりの環境整備を行う。 さらに、個人が無理なく健康づくりに取り組むきっかけとして、ウォーキングを行った市民に「ちばシティポイント」を付与する。	運動イベント：全区で実施 1回/区 地区組織向けポイント付与：当選団体数 70団体 メールマガジン：2回/月 メール配信	・地区組織向けインセンティブ授与：応募団体86団体（当選70団体） ・メールマガジン：2回/月 メール配信 ・ちばしウォーキングポイント（ちばシティポイント付与） 付与条件 1日当たり平均6,000歩以上を3か月継続 付与ポイント 上限200P	・地区組織向けインセンティブ授与：当選団体数 70団体 ・ちばしウォーキングポイント（ちばシティポイント付与） 付与条件 ①月平均歩数6,000歩/日達成②健康づくり宣言 付与ポイント ①50P/月②100P/回	7,816	9,329	健康推進 課
禁煙の支禁	妊婦や子どもへの受動喫煙による健康被害を防止するため、禁煙外来治療費の一部を助成する。	助成金交付件数：41件	・妊産婦や子育て中の家庭等への事業周知 ・治療費助成の実施	・妊産婦や子育て中の家庭等への事業周知 ・治療費助成の実施	381	1,017	健康推進 課
糖尿病の発症予防・重症化予防の取組みの推進	糖尿病教室の開催、市医師会医師による講演会や糖尿病サークルを通して、糖尿病の発症予防、重症化予防のための知識の普及、啓発を図る。	・糖尿病教室、糖尿病サークル 開催回数：88回	・糖尿病教室、糖尿病サークル 開催回数：86回	・糖尿病教室、糖尿病サークル 開催回数：96回	2,428	754	健康推進 課
	国民健康保険被保険者を対象に、特定健康診査やレセプトデータを活用して、糖尿病や人工透析へ移行する可能性の高い糖尿病性腎症の発症予防対策を推進する。	・糖尿病予防教室案内送付 8,722人 ・腎臓講演会案内送付送付 198人 ・受療勧奨と保健指導 通知発送 1048人 うち訪問、電話、面接実施 821人	・糖尿病予防教室や腎臓講演会案内を送付 1,225人 ・受療勧奨と保健指導 980人 ・【新規】 糖尿病性腎症の発症、重症化リスクが高い人への保健指導 32人	・糖尿病予防教室や腎臓講演会案内を送付 1,200人予定 ・受療勧奨と保健指導 1,000人予定 ・糖尿病性腎症の発症、重症化リスクが高い人への保健指導 40人予定 ・令和元年度のフォロー 29人予定	13,385	13,651	健康支援 課 健康推進 課
介護予防に取り組むきっかけの提供	介護予防の推進に向け、高齢者がフィットネスクラブを利用する場合の一部助成を実施し、介護予防に取り組むきっかけを提供する。	参加者数：265人	参加者数：51人	参加見込者数：432人	341	3,967	健康推進 課
短期リハビリ型通所サービス	介護予防を必要とする在宅要支援者等に対し、リハビリ専門職が立案する短期集中機能訓練プログラムを実施するとともにセルフケアを促し、地域において自立した生活を営むことができるよう支援する。	利用者数：71人	利用者数：240人（最大）	利用者数：240人（最大）	13,708	16,713	介護保険 事業課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略4. 高齢者が心豊かに暮らせるまちづくり

(単位：千円)

施策(2) 健康づくりの推進による健康寿命の延伸							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
受動喫煙対策	受動喫煙の機会を減らし、市民の健康増進を図るため、健康増進法及び千葉市受動喫煙の防止に関する条例に基づく取組みを実施するとともに、受動喫煙に関する普及・啓発活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉市受動喫煙の防止に関する条例を制定(2020年4月施行)</li> <li>公共交通機関での広告、動画を活用した制度周知を実施</li> <li>飲食店約3,300件を個別訪問し、実態調査、周知啓発等を実施</li> <li>飲食店の屋内禁煙化への助成を実施 1件、10万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関での広告、動画を活用した制度周知を実施</li> <li>飲食店約2,600件を個別訪問し、実態調査、周知啓発等を実施</li> <li>飲食店の屋内禁煙化への助成を実施 7件674千円</li> <li>相談、指導体制の整備を実施するため、健康企画課に受動喫煙対策室を設置。嘱託職員を雇用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関での広告、動画を活用した制度周知を実施</li> <li>飲食店を個別訪問し、外観調査等を実施</li> <li>相談、指導体制を整備するため、受動喫煙対策推進員を2人から6人に増員予定</li> <li>LINEなどを利用した通報ツールの運用</li> </ul>	37,994	54,000	健康推進課

(単位：千円)

施策(3) アクティブシニアの活躍推進							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
シニアリーダー活動の推進(再掲)	地域で自主的な介護予防活動を推進するシニアリーダーの活動(シニアリーダー体操教室等)を支援するため、各区シニアリーダー連絡会に経費に対する助成制度を設け活動を支援する。	講座受講者数 150人 地域の自主活動会場 140→191か所	講座受講者数 123人 地域の自主活動会場 205か所 活動補助金 200千円(各区シニアリーダー連絡会)	講座受講者数 240人 地域の自主活動会場 205か所 活動補助金 200千円(各区シニアリーダー連絡会)	21,505	22,042	健康推進課
生涯現役応援センター運営	高齢者の心身の状況に合わせた就労や地域活動など多様な社会参加ニーズに対応するため、相談窓口の設置や一元的な情報提供を行い、社会参加を促す拠点として整備する。	相談件数 : 507件 マッチング数 : 83件	相談件数 : 656件 マッチング数 : 156件	相談件数 : 1073件 マッチング数 : 339件	11,181	13,366	高齢福祉課
介護支援ボランティア制度の充実	高齢者の健康増進や介護予防の促進を図るため、高齢者のボランティア活動による地域貢献・社会参加を支援する。	登録者数 2,225人	登録者数 2,306人	登録者数 2,400人	5,448	5,600	介護保険管理課
高齢者雇用の促進	シニア層を対象に、就職活動の心構えや労働市場の理解等を目的としたセミナーと、採用する意向のある企業との交流会を実施する。千葉県ジョブサポートセンター、市原市、四街道市と共催。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市原市、四街道市、千葉県ジョブサポートセンターとの共催セミナー</li> <li>千葉県、千葉労働局との共催セミナー</li> <li>セブンイレブンの「シニア従業員のお仕事説明会 in 千葉」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市原市、四街道市、千葉県ジョブサポートセンターとの共催セミナー</li> <li>千葉県、千葉労働局との共催セミナー</li> <li>セブンイレブンの「シニア従業員のお仕事説明会 in 千葉」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市原市、四街道市、千葉県ジョブサポートセンターとの共催セミナー</li> <li>千葉県、千葉労働局との共催セミナー</li> <li>セブンイレブンの「シニア従業員のお仕事説明会 in 千葉」を実施</li> </ul>	—	—	雇用推進課
【新規】地域人材育成(仮称)ボランティア大学校)	ボランティアに関する知識や幅広い視野を身につけ、地域で継続的に活躍できる地域福祉活動のリーダーを養成するための講座を開講する。	—	—	1 基礎コース 2時間×15回×3クラス 2 ステップアップコース 2時間×15回×1クラス	—	10,000	高齢福祉課
【新規】高齢者・障害者移動支援	買い物・通院などが困難な高齢者(要介護者など)や障害者の移動を支援するため、輸送サービスを行う福祉有償運送事業者の立ち上げ及び運営経費に対する助成をモデル的に実施する。	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>立上補助 : 4団体</li> <li>運営補助 : 20団体</li> </ul>	—	2,804	高齢福祉課

重点戦略5. 都市資源を活用し、ひとつひとつがつながるまちづくり

(単位：千円)

施策(1) 都市のコンパクト化により活力を生み出す地域空間の形成							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
自転車を活用したまちづくり	自転車を活用したまちづくりを推進するため、関係機関などと連携しながら、自転車の自発的な利用や交通安全への理解を深めるためのイベント及び自転車リーダー育成講習会などを開催するとともに、「自転車を活用したまちづくり推進計画」に基づいた取組みを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車を活用したまちづくり啓発イベントの開催等2回</li> <li>自転車を活用したまちづくり事業補助金1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車を活用したまちづくり啓発イベントの開催2回</li> <li>自転車を活用したまちづくり事業補助金1件</li> <li>市民意識調査</li> <li>自転車リーダー育成講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車を活用したまちづくり啓発イベントの開催2回</li> <li>自転車を活用したまちづくり事業補助金1件</li> <li>市民意識調査</li> <li>自転車リーダー育成講習会</li> <li>自転車活用推進計画策定(第2期)</li> </ul>	6,601	6,260	自転車政策課
立地適正化計画の推進	平成30年度に策定した立地適正化計画に基づき、具体的な施策を実施するための計画の策定及び調査検討を行う。	立地適正化計画骨子の策定 立地適正化計画の策定	立地適正化計画を踏まえ、各事業を実施 ・都市のスポンジ化対策及び住宅団地活性化について、本市の特徴に適合した具体的な施策の方針等を検討	立地適正化計画を踏まえ、 ・居住を促進する施策 ・都市機能を誘導する施策 ・主に郊外部における施策 ・都市のスポンジ化対策 ・ネットワークを維持確保・強化する施策の実施。	13,200	—	都市総務課
千葉都心地区の活性化	千葉駅周辺の活性化グランドデザイン策定から3年が経過し、駅周辺の状況が大きく変化してきたことから、開発動向などを把握し、先行整備プログラムへ影響を考慮して、一部改定などを検討するとともに、活性化推進のために通町公園の再整備などを行う。また、回遊性向上のための循環バスの運行について、経費の一部を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グランドデザインの進捗状況の確認や方針への影響等の検討</li> <li>中央公園・通町公園の連結強化における通町公園の基本設計など</li> <li>循環バスの運行経費への一部助成を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グランドデザインの一部改定</li> <li>中央公園・通町公園連結強化における用地取得、暫定整備など</li> <li>循環バスの運行経費への一部助成</li> </ul>	「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」の先行整備プログラムに位置付けた通町公園の再整備や周辺地域の景観誘導に向けたモデル事業などに取組むほか、回遊性向上のための循環バスの運行に対して助成する。	69,537	635,460	都心整備課
千葉駅西口地区第二種市街地再開発	千葉都心の土地の高度利用及び都市機能の更新を図るため、B工区の再開発ビルやペDESTリアンデッキなどの整備を進める。	B工区の再開発ビルの整備やペDESTリアンデッキなどの公共施設の整備を実施	B工区の再開発ビルの整備やペDESTリアンデッキなどの公共施設の整備を実施	B工区の再開発ビルなどの完成を受けた事業計画の変更及びペDESTリアンデッキの供用開始に伴う交差点改良工事を行う。	460,819	20,800	都心整備課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略5. 都市資源を活用し、ひとつひとつがつながるまちづくり

（単位：千円）

施策（1）都市のコンパクト化により活力を生み出す地域空間の形成							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
千葉駅東口地区第一種市街地再開発	再開発組合が行う市街地再開発事業に対して、事業費の一部を助成する。また、東口駅前広場の歩行空間の改善を図るためバスシェルターの再設及び、歩道の舗装等を行う。	既存建築物解体及び再開発ビル建設費の一部に対する助成	既存建築物解体及び再開発ビル建設費の一部に対する助成 東口駅前広場におけるバスシェルターの再設、歩道舗装等の実施	既存建築物解体及び再開発ビル建設費の一部に対する助成 東口駅前広場におけるバスシェルターの再設、歩道舗装等の実施	715,000	441,000	市街地整備課
JR稲毛駅東口地区のまちづくり	JR稲毛駅東口周辺における市街地再開発の事業化に向け、東口駅前広場の調査及び、基本計画の作成を行う。	周辺地域の実態調査	再開発事業化に向けた東口駅前広場の調査及び基本計画作成	市街地再開発により駅前広場を含めた周辺街区の一体的な再編に向けた基本計画案等の作成支援	19,000	13,000	市街地整備課
JR蘇我駅東口駅前地区のまちづくり	JR蘇我駅東口周辺における市街地再開発の事業化に向け、東口駅前広場の基本計画の作成を行う。また、ジェフユナイテッド千葉のホームタウンとしてジェフを身近に感じられるような整備を行う。	再開発に向けた事業化検討修正 蘇我周辺のジェフいろ化	再開発事業化に向けた東口駅前広場の基本計画作成 蘇我駅周辺のジェフいろ化に向けた取組み	市街地再開発の事業化に向けた東口駅前広場の基本計画検討 蘇我駅周辺のジェフいろ化に向けた取組み	15,700	9,700	市街地整備課
東幕張土地区画整理	本地区は、道路・公園等の都市基盤の整備が遅れた密集既成市街地であり、地区住民の安全安心を確保するため、公共施設等の整備を進め、良好な市街地形成を図る。	建物移転 27戸 道路整備 449m	建物移転 22戸 道路整備 109m	建物移転 10戸 道路整備 80m	1,588,000	1,789,539	東幕張土地区画整理事務所
地域再生支援	地域の居住環境の向上及び地域コミュニティの再生を図るため、一定の要件を満たす分譲マンションの建替えを行う管理組合等に対し、計画策定・設計・工事に要する経費の一部を助成する。	マンション管理組合等への補助実績無し	・建替え推進決議がなされたマンション管理組合に対し、計画策定費に要する経費の一部を助成する（1件） ・市分譲マンション相談会等を通じた管理組合への制度の周知、広報を計画的に実施。	・建替え推進決議がなされたマンション管理組合に対し、計画策定費に要する経費の一部を助成する（1件） ・市分譲マンション相談会等を通じた管理組合への制度の周知、広報を計画的に実施。	—	500	住宅政策課
空家等対策	空家等対策計画に基づき、空家等の流通促進や利活用などに向けた具体的な取組みを推進するとともに、管理不全な空家等の解消に向け所有者等が適正な管理をするよう助言・指導等の措置を実施する。	空家等対策計画の策定 空家等対策協議会の開催 千葉市の空家等の有効活用及び適正管理の推進等に関する協定を関係7団体と締結	1 千葉市空家等情報提供制度による空家等所有者と利用希望者のマッチングの実施（1件） 2 空家等活用・除却提案モデル事業による地域の自治組織等への支援（募集結果：活用モデル0件 除却モデル0件） 3 セミナーなどの啓発事業による空家等の発生予防（2回開催） 4 特定空家等対策の実施（法に基づく調査や指導等を実施） 5 空家等対策協議会の開催（1回開催）	1 空家等情報提供制度による空家等所有者と利用希望者のマッチングの実施（30件） 2 空家等活用・除却提案モデル事業による地域の自治組織等への支援（活用モデル2件 除却モデル1件） 3 リーフレット・セミナーなどによる啓発事業（セミナー・相談会：3回） 4 特定空家等対策の実施（法に基づく調査や指導等） 5 空家等対策協議会の開催（2回）	7,406	10,352	住宅政策課
千葉公園再整備	千葉公園の魅力向上や周辺地域の活性化のため、公園全体の再整備を推進する。	千葉公園再整備マスタープラン（案）の策定	千葉公園再整備マスタープランの策定 基本設計（公園全体） 補償費算定調査業務	実施設計（賑わいエリア） 不動産鑑定	37,928	40,950	緑政課
蘇我スポーツ公園の整備	本市のスポーツ・レクリエーション及び広域的な防災の拠点とするため、整備を推進する。	・円形野球場の整備。 ・日除け施設（2基）の設置。	・第3多目的広場の整備 ・第4駐車場の整備 ・日除け施設（2基）の設置	・第3多目的広場の整備 ・第4駐車場の整備 ・日除け施設（2基）の設置 ・円形野球場照明施設の整備	775,020	1,000,000	公園建設課
自転車走行環境の整備	安全で快適な自転車環境を創出するため、「ちばチャリ・すいすいプラン」に基づき自転車レーン等を整備する。	自転車走行空間の整備 4.1km整備	自転車走行空間の整備 5.2km整備	自転車走行空間の整備 7.3km整備	60,522	79,800	自転車政策課
（仮称）千葉公園体育館の整備	現在の「千葉公園体育館」、「千葉市武道館」及び「千葉市中央コミュニティセンター体育施設」は、経年による施設の老朽化が著しく、耐震性能も不足していることから、これらを集約した施設を整備する。	基本設計 土質調査	実施設計	本体工事 工事監理 家屋事前調査	101,000	547,000	スポーツ振興課
千葉市美術館の拡張	文化面からの千葉都心への集客を図るため、中央区役所移転後の跡スペースを活用し、新たな展示スペースや、体験・交流ゾーンを整備する。	実施設計	改修工事	駐輪場整備	1,299,191	5,000	文化振興課
エリアリノベーション	民間主導で民・公の遊休不動産を活用し、地域課題を解決する「リノベーションまちづくり」のプロジェクトを小さなエリアに集約・連鎖させ、エリアのイメージを変え価値を高める	—	・リノベーションまちづくり講演会2回 ・リノベーションスクール（3日間・3案件・24名） ・事業化に向けたアフターフォロー2回	遊休不動産を活用し、千葉都心の魅力・価値向上を図るための事業創出や民間主導のまちづくりを担う人材育成などを行う。	10,227	10,000	都心整備課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略5. 都市資源を活用し、ひとつひとつがつながるまちづくり

（単位：千円）

施策（1）都市のコンパクト化により活力を生み出す地域空間の形成							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
【新規】 花見川利活用の官民連携手法検討調査	河川の魅力を活かしたまちづくりを進めるため、花見川河川空間と流域の公園・緑地との一体的な利活用を調査・検討する。	—	—	官民連携手法検討調査	—	16,000	都市総務課
【新規】 新千葉2・3地区市街地再開発	千葉駅西口地区に隣接した地区において、老朽化した既設建築物及び細分化した街区の再編により、商業や居住機能等を集積することで、土地の高度利用と都市機能の更新を図る。	—	—	再開発組合が行う市街地再開発事業に対して、事業費の一部を助成する。	—	290,000	都心整備課
【新規】 次期「緑の基本計画」の策定	次期「緑の基本計画」の策定に向け、市内の緑の分布状況調査や内容の検討をこなう。	—	—	次期「緑の基本計画」の策定に向けて、市内の緑の分布状況の調査を行う。	—	3,600	緑政課
【新規】 都市計画の総合的な見直し	持続可能なまちづくりを目指し、都市行政の基礎となる分野別マスタープランの見直しに着手する。	—	—	見直し方針などの検討	—	20,000	都市総務課
【完了】 中央区役所の移転（きぼーの改修）	中央区役所をきぼーるに移転し、中央保健福祉センターと一体化することで、市民の利便性の向上を図る。	中央区役所移転に向けて、移転レイアウト設計・改修・一部移転を行ったほか、きぼーるの施設改修工事を実施。 平成31年1月4日 保健福祉センター・区政事務セン	令和元年5月7日 中央区役所移転 中央区役所移転に合わせ、EVの停止階増設工事を実施	—	178,977	—	区政推進課

（単位：千円）

施策（2）ネットワーク化の促進による、地域の拠点づくり							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
避難行動要支援者の支援体制の強化	災害時の避難行動要支援者の支援体制を強化するため、避難行動要支援者名簿を町内自治会や自主防災組織等に提供する。	名簿提供率 32.3%	名簿提供率 32.8%	名簿提供率 48%	—	—	防災対策課
自主防災組織の結成促進及び活動支援	自主防災組織の育成強化を図るため、各種助成を行うほか、防災・減災に必要な知識や技術を持ったリーダーを養成する防災ライセンス講座などの開催や防災アドバイザーを派遣する。	・設置助成：5団体 ・活動助成：31,468人 ・資機材助成：54団体 ・資機材再助成：16団体 ・リーダー研修会：1回 ・ライセンス講座：5回 ・スキルアップ講座：2回 ・防災アドバイザーの派遣8回	・設置助成：7団体 ・活動助成：27,998人 ・資機材助成：72団体 ・資機材再助成：14団体 ・リーダー研修会：1回 ・ライセンス講座：5回 ・スキルアップ講座：2回 ・防災アドバイザーの派遣14回	・設置助成：20団体 ・活動助成：35,620人 ・資機材助成：93団体 ・資機材再助成：14団体 ・リーダー研修会：1回 ・ライセンス講座：5回 ・スキルアップ講座：2回 ・防災アドバイザーの派遣20回	16,640	16,307	防災対策課
避難所運営委員会の活動支援	避難所運営委員会の活動を支援するため、自主的な訓練、会議、研修会などの活動に要する経費に対し助成するほか、避難所の開設・運営の手順を分かりやすく解説した動画を制作する。	・活動支援補助金：150団体 （※地域運営交付金による補助分を含む。）	・活動支援補助金：152団体 （※地域運営交付金による補助分を含む。） ・避難所の開設及び運営に関する動画を制作	・活動支援補助金：158団体 （※地域運営交付金による補助分を含む。） ⇒1避難所当たり27,000円だった補助限度額を、令和2年度から30,000円に増額予定	5,632	3,420	防災対策課
幕張新都心拡大地区の新駅整備	幕張新都心の交通機能の強化や分散化を図るため、JR京葉線新駅設置を進める。	基本調査で示された概要に基づき、経済性や施工性などを考慮した工法や仕様などの比較検討を行い、より精度の高い工事費や工期等を算出するための概略設計を、JRに依頼。	令和5年度末の開業を目指し、詳細設計と工事を一本化した施行協定を締結。詳細設計を実施する。	令和5年度末の開業を目指し、詳細設計と工事を一本化した施行協定（令和元年8月締結）に基づき、詳細設計を進めながら事業費縮減及び早期開業に向けてJR東日本と協議・調整する。	23	227,000	交通政策課
東京都市圏交通体系調査（パーソントリップ調査）	東京都市圏の都県政令市、国土交通省関東地方整備局及び複数団体とともに東京都市圏交通計画協議会において、東京都市圏の『人の動き』や『物の動き』を把握し、将来の総合交通計画を策定するための調査を実施する。	パーソントリップ調査（本体調査）を実施	パーソントリップ調査（本体調査）に係る付帯調査、課題分析を実施した。	パーソントリップ調査（本体調査、付帯調査）結果を活用して交通行動モデルを作成するとともに、都市圏のあり方検討結果についてとりまとめを実施。	18,700	11,790	交通政策課
JR京葉線・りんかい線の相互直通運転の促進	鉄道交通の利便性の向上を図るため、JR京葉線と東京臨海高速鉄道りんかい線の相互直通運転の促進を図る。	鉄道事業者等との意見交換	鉄道事業者等との意見交換	鉄道事業者等との意見交換	—	—	交通政策課
バス活性化システムの整備	公共交通の乗継円滑化や利用促進を図るため、バスロケーションシステムやICカードシステムの導入を促進する。	導入予定としていたバス事業者から、補助申請なし。	導入予定であったバス会社が導入を見送ったことから、未達成となった。 導入の前提となる環境整備（標準的なバス情報フォーマットの活用）に努め、引き続きバスロケーションシステムの導入に向けた協議を行った。	導入予定であったバス会社が導入を見送ったことから、未達成となる見込みである。	15,704	—	交通政策課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略5. 都市資源を活用し、ひとつひとつがつながるまちづくり

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
地域参画型コミュニティバス導入の推進	公共交通が不便な地域での移動手段を確保するため、地域主体によるコミュニティバス等の導入を促進する。	「地域参画型コミュニティバス等運行支援制度」に基づき協議を行っている地区があるが、地域が運行に対して責任を持つこと等が負担となり、事業化には至っていない。	協議会は設立されたが運行計画の策定等具体的な議論は進んでいない。協議会において具体的な検討が進むよう調整に努めたが、運行に關しての沿線施設等からの支援が具体化しなかった。なお、地域より交通アドバイザーの派遣依頼があり、2地域に派遣を行った。	協議会を通じての具体的な検討や支援が進むよう調整に努めるとともに、制度の見直しを見据えて地域参画型公共交通について勉強会を開催する。	52	—	交通政策課
鉄道駅バリアフリー化の推進	鉄道駅の利用を円滑にするため、エレベーター等の設置の促進やモノレール駅における多機能トイレの整備、通路の段差解消など、バリアフリーに対応した整備を行う。	○鉄道駅バリアフリー化の促進 ・多機能トイレ…京成幕張駅、学園前駅 ・内方線付点状ブロック…JR幕張駅、新検見川駅、鎌取駅（JRが単独で整備）	○鉄道駅バリアフリー化の促進 ・段差解消…京成検見川駅 ・多機能トイレ…京成検見川駅	○鉄道駅バリアフリー化の促進 ・多機能トイレ…みどり台駅、千葉寺駅、おゆみ野駅	25,266	20,000	交通政策課
JR 千葉駅建替への促進	千葉駅周辺の魅力向上と利便性の向上を図るため、JRとモノレールを連絡する通路などを整備する。また、千葉駅西口広場とJR千葉駅の駅ビルを接続するデッキの整備を促進する。	千葉駅東口に雨よけ施設（庇1,2,4）を整備	千葉駅東口に雨よけ施設（庇3）を整備予定であったが、2度の入札不調により未整備。R1予算を繰越明許し、R2年度に整備予定。	千葉駅東口に雨よけ施設（庇3）を整備する。	—	50,000	都心整備課
【凍結】 モノレール千葉駅舎の改修	千葉駅利用者の利便性と快適性の向上を図るため、モノレール千葉駅舎コンコースから駅東口タクシー乗り場へ直接連絡するエレベータを設置する。	—	—	—	—	—	都心整備課(H29) 交通政策課 都心整備課(H29)
緊急輸送道路沿道建築物耐震助成	緊急輸送道路の通行を確保するため、旧耐震基準で建設された沿道建築物の耐震診断及び耐震改修などの費用の一部を助成する。	耐震診断：0棟 耐震改修等：0棟	耐震診断：1棟 耐震改修等：1棟	耐震診断：2棟 耐震改修等：1棟	19,514	24,000	建築指導課
自転車走行環境の整備（再掲）	安全で快適な自転車環境を創出するため、「ちばチャリ・すいすいプラン」に基づき自転車レーン等を整備する。	自転車走行空間の整備 4.1km整備	自転車走行空間の整備 5.2km整備	自転車走行空間の整備 7.3km整備	60,522	79,800	自転車政策課
シェアサイクルの促進	移動の利便性と回遊性の向上を図るとともに、公共交通を補完する新たな交通サービスとして、シェアサイクルを促進する。	都市部における新たな交通サービスとしてのシェアサイクルの有効性及び課題などを検証するため、平成30年3月より、公募により選定した民間事業者（Open Street株）と共同でシェアサイクル実証実験を実施	シェアサイクルの有効性、課題等に関する方針業務委託 ○稼働状況データの分析（利用状況、ステーション間の移動状況等） ○利用意向調査 ・利用者アンケートの集計、分析 ・市民向けアンケートの集計、分析 ○事業継続性に関する調査、分析（採算性に関する検証） ○本格稼働に向けた課題と解決策（考察）	・本格実施（～R7.3.31） ・充電ステーションの導入 ・JR総武線各駅周辺のエリア拡充 など	2,984	—	国家戦略特区推進課
主要幹線街路整備（塩田町菅田町線）	・塩田町地区 地域高規格道路の一部を構成する区画の整備を進める。 ・菅田町地区 大網線のバイパスの役割と市東南部の交通需要に対応する整備を行う。	用地買収6件、補償6件	用地買収13件、補償10件	用地買収20件、補償16件	482,230	810,400	街路建設課
新たなインターチェンジ設置検討	湾岸地域のポテンシャルを十分に発揮させるため、東関東自動車道へいち早く流入できる、東京方面への新たなインターチェンジの設置を検討する。	整備効果検討	道路予備設計等	関係機関協議等	29,361	—	道路計画課
【新規】 公共交通利用促進支援（サイクル&ライド）	公共交通の利便確保のため、バス事業者が実施するパーク&ライド、サイクル&ライド、バス停留所等における環境改善整備について補助制度を創設する。	—	—	バス事業者が実施するサイクル&ライドの環境改善について、費用の一部を助成する。	—	2,500	交通政策課
【完了】 移動支援ニーズ調査	高齢者などの買い物や通院など移動に係る支援について、ニーズを把握するため、調査を実施する。	—	在宅の高齢者等に対し、調査を実施。	—	1,419	—	高齢福祉課

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
若葉住宅地区における住宅整備促進	「職・住・学・遊」の複合機能が集積した、国際性豊かなまちづくりを推進するため、若葉住宅地区の住宅整備を促進する。	・H31.3に、B-7街区の一部（497戸）が竣工 ・関係者との協議・調整	・H31.4 幕張ベイパーク街びらきセレモニー開催 ・周辺環境整備について、関係者との協議・調整を実施	・R2.5 サービス付き高齢者向け住宅（141戸、B-7街区の一部）開業予定 ・R3.3 スカイグランドタワー（B-2街区）竣工予定	—	—	幕張新都心課
幕張新都心賑わい創出事業	幕張新都心の魅力を高め、交流人口の増加を図るため、国家戦略特区道路占用事業（エリアマネジメントの民間開放）を活用し、道路空間を活用した賑わい創出に取り組み、MICE誘致を促進する。	活用イベント ・東京ゲームショウでの広告掲出 ・幕張新都心クリテリウムでのコース拡大 ・その他のイベントでの歓迎パナーの掲出	<主な活用イベント> ・Interop Tokyo2018 ・東京ゲームショウ2019 ・JBCF幕張新都心クリテリウム ほか	<活用予定イベント> コロナウイルスの影響により、未定 ※事態終息後に関係者と協議し、積極的な活用を目指す。	—	—	幕張新都心課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略5. 都市資源を活用し、ひととひととがつながるまちづくり

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
幕張新都心拡大地区の新駅整備（再掲）	幕張新都心の交通機能の強化や分散化を図るため、JR京葉線新駅設置を進める。	基本調査で示された概要に基づき、経済性や施工性などを考慮した工法や仕様などの比較検討を行い、より精度の高い工事費や工期等を算出するための概略設計を、JRに依頼。	令和5年度末の開業を目指し、詳細設計と工事を一本化した施行協定を締結。詳細設計を実施する。	令和5年度末の開業を目指し、詳細設計と工事を一本化した施行協定（令和元年8月締結）に基づき、詳細設計を進めながら事業費縮減及び早期開業に向けてJR東日本と協議・調整する。	23	227,000	交通政策課
国家戦略特区の推進	民間主導による近未来技術の実証実験を実施するとともに、その他国家戦略特区を活用した規制緩和事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに規制改革メニュー計画認定</li> <li>新たな新規規制改革の提案</li> <li>「特区NEWS」の発行</li> <li>千葉市ドローン宅配等分科会及び技術検討会の開催</li> <li>ドローンデモ飛行の実施</li> <li>ワンストップセンターの運営</li> <li>ドローンフィールドの運営</li> <li>ドローン活用推進事業の実施</li> <li>パーソナルモビリティ試乗体験ツアー実施</li> <li>ワールドロボットサミット2018地域展示の実施（幕張新都心）</li> <li>自動運転モビリティの公道実証実験実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに規制改革メニュー計画認定</li> <li>新たな新規規制改革の提案</li> <li>「特区NEWS」の発行</li> <li>千葉市ドローン宅配等分科会及び技術検討会の開催</li> <li>ドローン宅配実証実験の実施</li> <li>ワンストップセンターの運営</li> <li>ドローンフィールドの運営</li> <li>ドローン活用推進事業の実施</li> <li>パーソナルモビリティ実証実験実施</li> <li>自動運転モビリティの公道実証実験実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに規制改革メニュー計画認定</li> <li>新たな新規規制改革の提案</li> <li>「特区NEWS」の発行</li> <li>千葉市ドローン宅配等分科会及び技術検討会の開催</li> <li>ドローン宅配実証実験の実施</li> <li>ワンストップセンターの運営</li> <li>ドローンフィールドの運営</li> <li>ドローン活用推進事業の実施</li> <li>自動運転モビリティの公道実証実験実施</li> </ul>	16,257	23,710	国家戦略特区推進課
MICEの推進（再掲）	本市には、多数のMICE施設、研究・教育機関、企業等が立地しており、MICE開催地としての強みを生かし、市内開催会議の支援や都市の魅力を発信することによりMICEの誘致を促進し、地域経済の活性化を図る。	国際会議を積極的に市内へ誘致し、国際観光の振興、地域経済の活性化などを行うため、開催経費の一部を助成するとともに、MICE関係者へのPR活動を行うほか、大規模MICE開催支援や大規模イベント開催に合わせた賑わいを創出する。	国際会議開催補助金による支援 1件 MICE開催補助金による支援 0件 大規模コンベンション開催補助金による支援 0件 国際会議や大規模イベント等開催時の主催者ニーズに応じたアフターコンベンション充実への支援 2件 MICE開催による効果測定調査実施	国際会議開催補助金による支援 3件 MICE開催補助金による支援 1件 大規模コンベンション開催補助金による支援 1件 国際会議や大規模イベント等開催時の主催者ニーズに応じたアフターコンベンション充実への支援 4件 オリパラを活用したおもてなし観光発信	125,975	35,567	観光MICE企画課
訪日外国人受入環境整備（再掲）	今後拡大が予想される東南アジアをはじめとする訪日観光客のインバウンド需要を取り込むため、外国の多様な文化や風習、ハラルやベジタリアンなどの食習慣に対応できるおもてなし体制を官民連携して整え、それらの周知を図るために効果的な情報発信を行う。（「おもてなしダイバーシティ」戦略）	本市がターゲットとしているマレーシア、台湾からの訪日外国人客を誘致するため、そして2020年東京五輪開催にむけて多様な文化を持つ外国人客を受け入れるためにムスリムだけでなく、ベジタリアン等にも対応できる「食のダイバーシティ」を新たな目標と掲げ、「おもてなしダイバーシティ」戦略を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【食のダイバーシティ対応の促進】</li> <li>ムスリムおもてなしマップの更新：1回</li> <li>ムスリム対応事業者の増加</li> <li>飲食店5店舗（H28）→29店舗（R元）</li> <li>ホテル1軒（H28）→4件（R元）</li> <li>美容室0店舗（H28）→6店舗（R元）</li> <li>マレーシア留学生スポーツ大会の開催誘致、PR活用</li> <li>【千葉おもてなしSHOPガイド（多言語対応の促進）】</li> <li>クーポン機能の搭載</li> <li>【外国人向け観光ボランティアガイドの養成・活用】</li> <li>合計102名養成完了（H29～H31の合計）</li> <li>活躍機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【食のダイバーシティ対応の促進】</li> <li>ムスリムおもてなしマップの作成（更新）（年1回）</li> <li>マップ掲載店舗への来客数増加を図るプロモーション</li> <li>ムスリム対応、ベジタリアン対応事業者の増加</li> <li>マレーシア留学生スポーツ大会の開催誘致、PR活用</li> <li>【千葉おもてなしSHOPガイド（多言語対応の促進）】</li> <li>登録支援</li> <li>広域連携PR</li> <li>【外国人向け観光ボランティアガイドの養成・活用】</li> <li>合計100名養成完了</li> <li>活躍機会の創出</li> </ul>	6,155	6,902	観光プロモーション課
海辺の活性化	海辺のグランドデザインを踏まえ、幕張海浜公園における海辺の魅力を活かした賑わい施設について、官民連携による事業化に向けて関係機関等と協議、調整を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■海辺の活性化支援</li> <li>29年度の検討成果を踏まえ、30年度以降の取組み体制を検討し、その体制のもと活性化方策の企画・実施を進めた。</li> <li>■賑わい施設の導入検討</li> <li>29年度の調査成果を踏まえ、事業実現に向けた県・市・関係事業者等との協議を進めた。</li> <li>■稲毛海浜公園検見川地区の賑わい創出・景観形成方針検討</li> </ul>	賑わい施設導入に向けて、引き続き関係機関等と協議、調整を行う。	賑わい施設導入に向けて、引き続き関係機関等と協議、調整を行う。	—	—	海辺活性化推進課
海浜幕張駅北口駅前広場周辺の再編整備	海浜幕張駅の交通結節点としての機能強化を図り、利用者の円滑な移動と利便性の向上を図るため、駅前広場の再編を進める。	再編に向けた基本計画の策定	関連事業との調整	関連事業との調整	—	—	市街地整備課
ZOZOマリスタジアムの充実	ZOZOマリスタジアムの来場者の安全性や快適性の向上のため、施設の改修を行い、幕張新都心の魅力ある拠点施設としていく。	ラバーフェンス交換工事实施設計（見送り） ZOZOマリスタジアム改修実施設計	ZOZOマリスタジアム改修実施設計（H30から継続） ZOZOマリスタジアム改修工事	ZOZOマリスタジアム改修工事	84,906	522,000	公園管理課
幕張海浜公園の管理運営	幕張新都心のまちづくりを推進するため、市が主体となり、幕張海浜公園の一部の管理運営を行う。	—	A～Cブロックの管理運営 環境改善事業（Bブロックの樹木間伐）	A～Cブロックの管理運営 環境改善事業（Aブロックの樹木間伐）	78,150	75,780	緑政課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略5. 都市資源を活用し、ひととひととがつながるまちづくり

(単位：千円)

施策(3) 幕張新都心の競争力の向上							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
幕張新都心将来ビジョン策定調査	幕張新都心の中長期的な未来を見据え、将来像や取組みの方向性を定めるため、将来ビジョンの策定に向けた調査・検討を行う。	—	・将来ビジョン策定に向けた基礎調査を実施 ＜調査内容＞ ①現状把握と分析（国内外の開発同行の整理、現状把握） ②アンケート調査等 ③課題の整理	・将来ビジョン（素案）を作成予定 ＜内容＞ ①将来像・取組みの方向性骨子の検討・作成 ②将来ビジョン（素案）の作成 ③（仮称）将来ビジョン懇話会の設置	9,335	13,000	幕張新都心課
幕張新都心イルミネーションの開催支援	幕張新都心の冬季・夜間の賑わい創出のため、地域経済団体などの地元主体による幕張新都心イルミネーションの開催を支援する。	—	○幕張新都心イルミネーション2019/2020を実施 ・実施時期 令和元年11月～令和2年1月 ・実施場所 JR海浜幕張駅前広場（北口・南口）	○幕張新都心イルミネーション2020/2021を実施（予定） ・実施時期 令和2年11月～令和3年1月 ・実施場所 JR海浜幕張駅前広場（北口・南口）	10,000	10,000	幕張新都心課

重点戦略6. 千葉市を知り、そして好きになる仕組みづくり

(単位：千円)

施策(1) 都市アイデンティティの確立							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
都市アイデンティティの確立	千葉市の歴史やルーツに根差した地域資源である「加曽利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」などを活用し、都市アイデンティティ（千葉市らしさ）を確立する。	【千葉常胤生誕900年PR】 ・記念行事 相馬野馬追と自治体首長による騎馬武者行列 ・北斗の拳とのコラボ企画 モノレールラッピングなど16企画 【千葉開府900年に向けた取組み】 ・「千葉開府900年に向けたロードマップ」の策定 【4資源のプロモーション】 ・PR映像放映 ・下敷き制作・配布 ・マンガ「千葉常胤公ものがたり」制作・配付 ・下敷き制作・新小学3年生へ配布 など	【千葉開府900年に向けた取組み】 ・団体支援 ・市民団体（まちづくり協議会）との連携 ・千葉氏ポータルホームページの作成（郷土博物館） 【4資源のプロモーション】 ・PR映像放映 ・下敷き制作・配布 ・海の副読本「千葉市の海辺」制作・配布 ・マンガ「千葉常胤公ものがたり」印刷・配送（郷土博物館）など	【千葉開府900年に向けた取組み】 ・団体支援 ・千葉氏ポータルホームページの運営（郷土博物館） 【4資源のプロモーション】 ・PR映像放映 ・下敷き制作・配布 ・海辺の副読本「千葉市の海辺」制作・配布（教育指導課） ・マンガ「千葉常胤公ものがたり」印刷・配布（郷土博物館） ・千葉氏公開市民講座 ・千葉氏関係パネル展 ・郷土博物館周辺及び史跡などにおける説明版整備 【都市アイデンティティ戦略プランの見直し】 ・意識調査の実施	27,123	25,621	都市アイデンティティ推進課 教育改革推進課 文化財課
文化芸術の振興を通じた賑わいづくり	「ベイサイドジャズ千葉」のコンサートなどのイベントや、ストリートミュージシャン等にライブ活動の機会を提供する「ちば・まちなかステージ」を開催する。	●ベイサイドジャズ2018千葉 デモンストレーション（5回実施） アマチュアジャズコンペティション（1回実施） ジャズクルージング（1日、2回実施） スチューデントジャズクリニック（3回実施） 前夜祭コンサート（1回実施） ジャズストリート（1日実施） スターダストジャズ（1日、2回実施） 【千葉市科学館主催事業】  ●ちば・まちなかステージ2018 千葉市を拠点に活動しているアマチュアミュージシャンやストリートパフォーマーの支援・発掘のための事業として、発表の機会を提供し、多くの市民に周知するとともに、千葉市全体の更なる芸術文化振興を図る。（年6回実施）	●ベイサイドジャズ2019千葉 デモンストレーション(6回実施) アマチュアジャズコンペティション（1回実施） ジャズクルージング（1日、2回実施） スチューデントジャズクリニック（3回実施） 前夜祭コンサート（1回実施） ジャズストリート（1日実施） スターダストジャズ（1回実施） 【千葉市科学館主催事業】  ●ちば・まちなかステージ2019 千葉市を拠点に活動しているアマチュアミュージシャンやストリートパフォーマーの支援・発掘のための事業として、発表の機会を提供し、多くの市民に周知するとともに、千葉市全体の更なる芸術文化振興を図る。（年6回実施）	●ベイサイドジャズ2020千葉 デモンストレーション(10回実施予定) アマチュアジャズコンペティション（1回実施予定） ジャズクルージング（1日、2回実施予定） スチューデントジャズクリニック（3回実施予定） 前夜祭コンサート（1回実施予定） ジャズストリート（1日実施予定） スターダストジャズ（1回実施予定） 【千葉市科学館主催事業】  ●ちば・まちなかステージ2020 千葉市を拠点に活動しているアマチュアミュージシャンやストリートパフォーマーの支援・発掘のための事業として、発表の機会を提供し、多くの市民に周知するとともに、千葉市全体の更なる芸術文化振興を図る。（年6回実施）	4,000	4,600	文化振興課
谷津田・里山の保全	本市の原風景である谷津田を保全するため、保全区域を拡大するとともに、保全団体等への活動支援を行う。また、里山地区を森林ボランティア団体と協働で保全するとともに、市民参加によるイベントを開催する。	谷津田保全区域 全体59.2ha （うち拡大3.2ha） 保全団体活動支援4団体 自然観察会（大草）19回 里山地区保全活動の継続 森林ボランティア技術研修会1回、林業体験教室1回	谷津田保全区域 全体61.5ha （うち拡大2.2ha） 保全団体活動支援5団体 自然観察会（大草）14回 里山地区保全活動の継続 森林ボランティア技術研修会2回、林業体験教室1回	谷津田保全区域 全体65.2ha （うち拡大3.7ha） 保全団体活動支援6団体 自然観察会（大草）19回 森林環境譲与税を活用した森林整備等 里山地区保全活動の継続 森林ボランティア技術研修会2回、林業体験教室1回	7,684	20,305	環境保全課 農業経営支援課
国内向け観光プロモーションの推進（再掲）	市の観光資源について、市場の求めに応じて魅力を発掘し、消費者が楽しめる体験型や、モデルルートに加工し、市内外に千葉市独自の魅力として発信する。「うみ・まち・みどり」三拍子揃った千葉市のブランドを確かなものにする。	体験観光プラン集「千葉あそび」の造成運営 ・年3号発行/25,000部 ・1号あたり13プラン掲載	体験型観光プラン集「千葉あそび」の造成運営 ・年3号発行/25,000部 ・1号あたり11プラン掲載	体験型観光プラン集「千葉あそび」の造成運営 ・年2号発行/30,000部 ・1号あたり13プラン掲載	10,000	10,000	観光プロモーション課



■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略6. 千葉市を知り、そして好きになる仕組みづくり

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
いずみグリーンビレッジ3拠点の充実	農業の振興と地域の活性化を図るため、農村地域の持つ豊かな自然環境など地域資源を活用し、都市部と農村部との交流を促進する。	3施設の管理運営を引き続き地元住民で組織する団体に委託するとともに、拠点の環境整備を行い、学生による地域おこし事業などにより地域の活性化を図った。	3拠点施設の管理運営を引き続き地元住民で組織する団体に委託 拠点環境整備 ・下田農業ふれあい館 ・店舗前広場段差解消、レストラン壁紙張替 ・富田さとにわ耕園 テーブル椅子セットの増設 ・中田やつ耕園 園路舗装延長 学生による地域おこし（イベント・PR実施）	3拠点施設の管理運営を引き続き地元住民で組織する団体に委託 拠点環境整備 ・下田農業ふれあい館 店舗前広場段差解消（31年度明許繰越） ・富田さとにわ耕園 原田池の安全対策（柵設置、橋梁改修） ・中田やつ耕園 園路舗装延長 花文字制作委託（市制100周年記念） 学生による地域おこし（イベント・PR実施）	57,691	97,979	農政課
オオガハスの普及啓発	市の花「オオガハス」制定25周年を記念した講演会の開催や「オオガハスPRアクションプラン」を策定するとともに、市内小学校へのオオガハス分根などを実施する。	大賀ハスマつり 9日間 市の花「オオガハス」25周年記念講演会開催 オオガハスPRアクションプラン策定 ハス守養成講座 オオガハス学校分根 等	大賀ハスマつり 9日間 ハス守さん養成講座 オオガハス学校分根 等	オオガハスPR ハス守さん養成講座 オオガハス学校分根 等	1,747		令和2年度は、新型コロナウイルスの関係で大賀ハスマつりを中止 緑政課
海辺の活性化	海辺のランドデザインを踏まえ、民間活力を導入して稲毛海浜公園のリニューアルを進めるとともに、まちづくり団体などが実施する事業に対し支援を行うほか、稲毛海浜公園検見川地区における景観形成や環境整備の検討を行う。	■海辺の活性化支援 29年度の検討成果を踏まえ、30年度以降の取組み体制を検討し、その体制のもと活性化方策の企画・実施を進める。 ■賑わい施設の導入検討 29年度の調査成果を踏まえ、事業実現に向けた県・市・関係事業者等との協議を進める。 ■稲毛海浜公園検見川地区の賑わい創出・景観形成方針検討 当該地区の魅力向上や、賑わいの創出のため、官民連携による景観形成や環境整備の検討を行う。	■海辺の活性化支援 市民やまちづくり団体によるイベント開催などの取組みに対し支援を行う。	■海辺の活性化支援 市民やまちづくり団体によるイベント開催などの取組みに対し支援を行う。	—	—	海辺活性化推進課
千葉中央港地区まちづくりの推進	円形棧橋等の完成に合わせて、みなとの賑わいを創出するため、関連事業者等との連携によりイベント等を実施するとともに、千葉みなと旅客船さん橋を利用する旅客船の運航を促進するための支援事業を行う。	■旅客船運航情報の充実 旅客船発着のアナウンス機能を充実させるための放送設備を設置した。 ■にぎわい創出 みなと活性化協議会によるイベント等の「みなと」を核としたまちづくりの取組みを支援した。 ■みなとの景観向上 千葉みなと駅から港への景観向上を図るためアクセス道路等の修景工事を行った。	■にぎわい創出 みなと活性化協議会によるイベント等の「みなと」を核としたまちづくりの取組みを支援する。 ■みなとの魅力・雰囲気創出 海やみなとを身近に感じる環境づくりのため、駅前広場への看板設置を行う。	■にぎわいの創出 みなと活性化協議会によるイベント等の「みなと」を核としたまちづくり取組みを支援する。 ■みなとの魅力・雰囲気創出 賑わいのある港づくりを進めるため、緑地を整備するとともに、安全性及び利便性確保に向けた施設整備を行う。	9,201	30,000	海辺活性化推進課
稲毛海浜公園のリニューアル	海辺に立地する稲毛海浜公園の持つポテンシャルを最大限に活かし、より多くの来園者で賑わうよう、民間活力導入による施設のリニューアルを推進する。	[行政負担施設] ・潜堤	[民間投資施設] ・BBQ場 [行政負担施設] ・潜堤 ・砂浜、ビーチ改修 ・照明、トイレ等	【民間投資施設】 ・プール改修（1期） ・グランピング施設 ・温浴施設 【行政負担施設】 ・基盤整備（電気・給排水等）、照明整備、トイレ整備等	916,571	845,900	緑政課
動物公園の充実	「動物公園リスタート構想」に基づき園の再生を図るため、アフリカ平原ゾーン（チーター・ハイエナ・ヤマアラシ）の整備を行う。	・アフリカ平原ゾーンの展示場施設整備 ・ミニアキョット展示場の整備工事 ・ウェルカム動物展示場実施設計 ・ミニアキョット展示場オープニングセレモニー	・アフリカ平原ゾーンの展示場施設整備 ・アフリカ平原ゾーンの動物導入	・草原ゾーン動物購入（小型レイヨウ種3頭） ・広報活動の充実 ・身障者トイレ等の改修（身障者用トイレ3基） ・ICTを活用した情報発信等	346,550	48,000	動物公園

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略6. 千葉市を知り、そして好きになる仕組みづくり

（単位：千円）

施策（1）都市アイデンティティの確立							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
特別史跡加曾利貝塚の魅力向上	加曾利貝塚の魅力や重要性を知ってもらうため、加曾利貝塚の史跡整備や縄文貝塚文化の研究を進めるとともに、縄文体験やイベントを実施する。	1 加曾利貝塚の史跡整備 （1）加曾利貝塚グランドデザインの策定 （2）第1収蔵庫・第3収蔵庫の解体・撤去 2 縄文貝塚文化研究の推進 （1）発掘調査 8/7～11/24 （2）現地見学会 11/24開催 参加者550人 3 縄文体験および集客イベントの実施 （1）縄文春まつり 5/5・6 参加者10,000人 （2）縄文秋まつり 11/3・4開催 参加者7,000人 （3）ナイトミュージアム 12/1開催 参加者1,600人	1 加曾利貝塚の史跡整備 （1）利便性向上などの短期的な史跡整備 北貝塚住居跡群観覧施設改修実施設計 園路・ベンチ等環境整備工事実施設計 （2）加曾利貝塚博物館の移転 新博物館基本計画策定 建設予定地周辺の交通量調査 2 縄文貝塚文化研究の推進 （1）発掘調査及び見学会の実施 （2）発掘資料の整理・調査研究 3 縄文体験および集客イベントの実施 （1）縄文体験プログラム運営 （2）縄文春まつり・秋まつり	1 加曾利貝塚の史跡整備 （1）利便性向上などの短期的な史跡整備 北貝塚住居跡群観覧施設建築改修工事 園路・ベンチ等環境整備工事 （2）加曾利貝塚博物館の移転 新博物館基本計画追加検討 建設予定地周辺の交通影響評価 2 縄文貝塚文化研究の推進 （1）発掘調査及び見学会の実施 （2）発掘資料の整理・調査研究 3 縄文体験および集客イベントの実施 （1）縄文体験プログラム運営 （2）縄文春まつり・秋まつり	143,409	411,476	文化財課
幕張海浜公園の管理運営（再掲）	幕張新都心のまちづくりを推進するため、市が主体となり、幕張海浜公園の一部の管理運営を行う。	—	A～Cブロックの管理運営 環境改善事業（Bブロックの樹木間伐）	A～Cブロックの管理運営 環境改善事業（Aブロックの樹木間伐）	78,150	75,780	緑政課
【新規】市制100周年記念誌作成	市制100周年を記念して市のあゆみや魅力を紹介する冊子を作成する。	—	—	記念誌の制作（7,000部）	—	6,416	広報広聴課
【新規】市制100周年記念式典	市制100周年をスタートするものとして、令和3年1月4日に記念式典を開催する。	—	—	令和3年1月4日（月）に記念式典を開催	—	8,000	秘書課 都市アイデンティティ推進課
【新規】100年のあゆみの分析	本市の都市としての発展の歴史をデータ分析することにより、特徴を見える化し、分かりやすく発信する。	—	—	報告書の制作、ホームページデザインの作成、掲載	—	6,853	都市アイデンティティ推進課
【新規】ジャパンビーチゲームズフェスティバルの開催	スポーツ振興のため、リニューアルなった「いなげの浜」でビーチゲームのイベントを実施する。	—	—	9月19日・20日に開催予定。	—	10,000	スポーツ振興課
【新規】千葉市史史料編近現代	本市の近現代の歩みを示す代表的な史料を市民共有の財産として後世に伝えるため、『千葉市史史料編近現代』を刊行する。	—	・第1巻の編集作業（原本照合、解説原稿執筆、版下作成） ・第2巻の掲載史料の選定作業、補充調査	・第1巻の編集作業、刊行 ・第2巻の編集作業	2,065	5,584	郷土博物館
【完了】旧神谷伝兵衛稲毛別荘耐震改修	旧神谷伝兵衛稲毛別荘の保存・活用のため、耐震改修工事を実施する。	耐震改修工事	耐震改修工事	—	73,044	—	文化振興課

（単位：千円）

施策（2）市民全員参加のまちづくり							
事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
自主防災組織の結成促進及び活動支援（再掲）	自主防災組織の育成強化を図るため、各種助成を行うほか、防災・減災に必要な知識や技術を持ったリーダーを養成する防災ライセンス講座などの開催や防災アドバイザーを派遣する。	・設置助成：5団体 ・活動助成：31,468人 ・資機材助成：54団体 ・資機材再助成：16団体 ・リーダー研修会：1回 ・ライセンス講座：5回 ・スキルアップ講座：2回 ・防災アドバイザーの派遣8回	・設置助成：7団体 ・活動助成：27,998人 ・資機材助成：72団体 ・資機材再助成：14団体 ・ライセンス講座：5回 ・スキルアップ講座：2回 ・防災アドバイザーの派遣14回	・設置助成：20団体 ・活動助成：34,970人 ・資機材助成：93団体 ・資機材再助成：14団体 ・リーダー研修会：1回 ・ライセンス講座：5回 ・スキルアップ講座：2回 ・防災アドバイザーの派遣20回	16,640	16,307	防災対策課
避難行動要支援者の支援体制の強化（再掲）	災害時の避難行動要支援者の支援体制を強化するため、避難行動要支援者名簿を町内自治会や自主防災組織等に提供する。	名簿提供率 32.3%	名簿提供率 32.8%	名簿提供率 48%	—	—	防災対策課
避難所運営委員会の活動支援（再掲）	避難所運営委員会の活動を支援するため、自主的な訓練、会議、研修会などの活動に要する経費に対し助成するほか、避難所の開設・運営の手順を分かりやすく解説した動画を制作する。	・活動支援補助金：150団体 （※地域運営交付金による補助分を含む。）	・活動支援補助金：152団体 （※地域運営交付金による補助分を含む。） ・避難所の開設及び運営に関する動画を制作	・活動支援補助金：158団体 （※地域運営交付金による補助分を含む。） ⇒1避難所当たり27,000円だった補助限度額を、令和2年度から30,000円に増額予定	5,632	3,420	防災対策課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略6. 千葉市を知り、そして好きになる仕組みづくり

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
市民シンクタンクの取組み	市民の知見を活かしたまちづくりを推進するため、自主運営によるグループワークで調査・研究、政策提言を行う市民シンクタンクの取組みを進める。	・第一期、第二期の効果検証 ・本格稼働のためのスキーム構築	次期基本計画の市民参加の取組みとして「市民シンクタンク特別版」を実施 ○対象者 15歳以上の市内在住・在勤・在学者 49名（無作為26名/公募23名） ○研究テーマ：「未来の千葉ライフをデザインする」本市の特性を踏まえた未来の千葉市の姿を描くとともに、その実現のために今後10年間で市民・市が行うべき取組みの方向性について提言してもらう。 ○スケジュール：令和2年1月頃から令和3年1月頃の約1年間 ・全体定例会スケジュール 【第1回（R2.1.18）】○オリエンテーション（委嘱状交付等） 【第2回（R2.2.24）】○グループ・研究テーマ決定 【第3回（R2.3.15）】○同上	次期基本計画の市民参加の取組みとして「市民シンクタンク特別版」を実施 ○対象者 15歳以上の市内在住・在勤・在学者 49名（無作為26名/公募23名） ○研究テーマ：「未来の千葉ライフをデザインする」本市の特性を踏まえた未来の千葉市の姿を描くとともに、その実現のために今後10年間で市民・市が行うべき取組みの方向性について提言してもらう。 ○スケジュール：令和2年1月頃から令和3年1月頃の約1年間 ・全体定例会スケジュール 【第4～8回】○政策提言の検討 【第9回】○中間報告会 【第10～12回】○政策提言内容の検討・政策提言書の作成 【第13回】○政策提言報告会・政策提言書提出 ・政策提言報告会 シンポジウムと同日開催（R3.2.6予定）	3,532	11,332	政策企画課
地域ポイント制度（再掲）	市民公益活動及び健康維持・増進活動の促進のため、民間と連携した利便性の高い地域ポイント制度の導入に向けた実証実験を行う。	民間企業と連携し、平成30年7月に実証実験を実施。	対象事業の拡充、八千代市との共同実施開始などにより、より多くの方が参加しやすい制度とした。	引き続き参加者及びポイント流通量の増加を図る。併せて、効果検証を行った上で、今後の実施方法について検討する。	23,958	32,800	政策調整課
地域運営委員会の設置促進	住民同士の助けあい、支えあいによる地域運営が持続可能となる体制づくりを進めるため、地域運営委員会の設置を促進する。	H30末で17地区設立	設立地区なし	4地区増を目指す	11,816	15,113	市民自治推進課
ちばレポ（ちば市協働レポート）の推進	ICT(情報通信技術)を活用し、市民からレポートされる地域の課題を市民と行政が共有し、合理的・効率的に解決を目指す仕組みとしてちばレポの運用を行い、市民参加の促進を図る。プラットフォームとしては、旧ちばレポをベースに全国の地方自治体に展開を目指す“MyCityReport”を利用する。	(1) 現行ちばレポの安定的運用 ①参加登録の拡大 ②課題の発見及び解決への、市民参加の促進 (2) 次世代型市民協働プラットフォーム“MyCityReport”実証実験への参画（平成30年度末まで） ①東京大学等との共同研究の継続…“MyCityReport”の開発協力 ②千葉市独自機能の開発 ③共同運営体制の確立…“MyCityReport”共同運営組織の準備会設立	(1) ちばレポ(MyCityReport)の運用 ①MyCityReportコンソーシアムへの参加 ②MyCityReportを本格運用開始(9月1日) ③旧ちばレポの運用終了(9月30日) (2) レポーター活動の促進 ①MyCityReport移行後の参加登録の拡大 ②課題の発見及び解決への市民参加の促進	(1) ちばレポ(MyCityReport)の安定的運用 ①参加登録の拡大 ②継続利用の促進 ③課題の発見及び解決への市民参加の促進 ④行政運営の効率化	8,049	5,986	広報広聴課
【新規】副業・兼業による民間人材の活用	民間企業の優秀な人材を、副業・兼業の形態で市の施策に活用する。	-	-	優秀な民間企業の人材を、副業・兼業という働き方に着目して、市の事業に携わってもらうよう公募・選考し、その人材の優れた知見を市の事業に活用する。	-	1,000	人事課

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
応急手当の普及啓発	救命率の向上を図るため、救命講習会を開催するとともに、市民ボランティアである応急手当インストラクターやジュニアインストラクターと協働した応急手当普及啓発活動を推進する。	-	救命講習受講者数 40,000以上	救命講習受講者数 40,000人以上	5,546	5,569	救急課
学校と地域の連携・協働体制の整備（再掲）	学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備するため、学校支援地域本部の設置を進める。	新たに4地区10校に学校支援地域本部を設置	新たに10校に学校支援地域本部を設置した	新たに10校に学校支援地域本部を設置する見込み	2,204	2,172	学事課
「あなたにお知らせサービス」の導入	市民自らが検索や問い合わせを行わずに済むよう、市が保有する住民情報を活用し、各種手当や健康診査などの制度内容をプッシュ型で案内し、受給漏れの防止などを行うサービスを開始する。	サービスの開始に向けて、仕様検討及び対象業務の調査等を実施	・市民を対象とした実証実験により対象業務の効果を検証 ・システム仕様の検討	・システム構築 ・サービス開始（R3.1～）	-	21,500	業務改革推進課
社会保障・税番号制度導入に伴うサービスの実施	市民の利便性向上及び行政運営の効率化を図るため、社会保障・税番号制度の個人番号カードを活用した新たなサービスを提供する。	子育てワンストップを継続して実施するほか、引き続きマイナンバーカード等を活用した新たなサービスについて検討を行った	・令和2年度に国が実施する「マイナポイントを活用した消費活性化策」に伴うマイキーID設定支援を開始（令和2年1月）	・介護ワンストップサービス開始（令和2年8月予定） ・マイキーID設定支援（継続）	1,588	20,403	業務改革推進課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略6. 千葉市を知り、そして好きになる仕組みづくり

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
事業者向け行政手続きの効率化の推進	事業者が市役所で行う手続きを改善し、手続きに要していた時間を業務に使える、「時間を返す市役所」を目指す。	H30.4.1から既存の「千葉市認定道路網図システム」及び「千葉市都市計画情報検索サービス」を統合し、新たに建築基準法の道路種別情報及び施工中の工事情報を追加した「千葉市地図情報システム」の運用を開始したことにより、インターネット上で24時間いつでも必要な情報の閲覧可能となり、市民・事業者にとっては、ワンストップによる利便性が向上するとともに、来庁の手間を省くことが出来るようになった。 また、引き続き行政手続きの見直しチェックシートを活用する等、各局の事務手続きの改善を促進する。	・消防訓練実施届出の電子申請対応（平成31年4月運用開始） →施設の所在地を管轄する消防署への届出（年間約5000件）が義務付けられている手続きを電子申請も可能とした。	引き続き行政手続きの見直しチェックシートを活用する等、各局の事務手続きの改善を促進する。 事務手続きの改善：1件	—	—	業務改革推進課
区役所窓口改革の推進	区役所における窓口手続の改善を図るため、区役所でワンストップサービスを提供する。	ワンストップ窓口を継続運用	ワンストップ窓口を継続運用	ワンストップ窓口を継続運用	330,687	346,759	情報システム課 区政推進課
証明書のコンビニ交付	市民の利便性向上と窓口業務の効率化を図るため、証明書のコンビニ交付を推進する。	コンビニ交付を継続運用	コンビニ交付を継続運用	コンビニ交付を継続運用	50,753	49,294	区政推進課
建築関連総合窓口整備事業	市民・事業者のニーズに対応した案内と行政運営の効率化を図るため、建築関連総合窓口を開設する。	窓口の本実施	窓口業務を建築情報相談課に移管し引き続き実施	建築情報相談課にて窓口業務を引き続き実施する。	115	125	建築情報相談課
建築基準法指定道路図・調査整備	建物を建築しようとする市民などに建築基準法上の道路の情報を提供するため、路線ごとの位置種類などを明示した指定道路図及び指定道路調査を整備する。	指定道路調査（260か所）作成 建築基準法指定道路図インターネット配信	指定道路調査（160か所）作成	指定道路調査（398か所）作成する。	5,280	9,686	建築情報相談課
特殊車両通行許可の迅速化	特大トラックなどの通行に際し、事業者が交通許可申請書を作成するために必要な道路情報データベースの整備を進め、事業者の負担を軽減させるとともに、通行許可の迅速化を図る。	道路情報便覧の更新 140区間	更新効果の検証	道路情報便覧の更新 140区間	—	3,000	土木管理課
自転車駐車場事前受付等の納付書払い	自転車駐車場利用者の利便性向上のため、事前受付等に係る料金について、金融機関やコンビニエンスストア及びクレジットカード（インターネット決済）での支払いに対応する。	引き続き納付書払いによる事前受付事務を実施	引き続き納付書払いによる事前受付事務を実施	引き続き納付書払いによる事前受付を実施	43,817	43,537	自転車政策課
図書館サービスポイントの設置	・図書館利用者の利便性を高めるため、駅周辺や商業施設等に図書返却や予約資料の貸出しができるサービス拠点を配置する。 ・土気図書室を改修し、子どもたちが読書に親しむ場や、予約本の受取返却などのサービスを提供する。	・図書返却ポスト（三省堂そごう千葉店）の運用(回収等) ・サービスポイントの拡充を検討 ・図書返却ポスト設置の拡充を検討	・図書返却ポスト（三省堂そごう千葉店）の運用(回収等) ・図書返却ポスト（イオンモール幕張新都心）の設置及び運用(回収等) ・実施の検討	・図書返却ポストの運用（回収等） ・市民への周知 ・レイアウト変更	594	4,000	中央図書館管理課
【新規】地域情報サービス提供	地域情報をインターネット上で閲覧できるシステムを構築する。	—	—	・ボランティア組織による地域情報の収集 ・システム構築、デジタル化作業 ・システム供用開始	—	2,800	中央図書館管理課
【完了】千葉市地図情報システムの高度化	千葉市地図情報システムを改修し、道路境界確定箇所道路情報をホームページに公開する。	公共基準点の情報をホームページに公開した。（平成31年4月1日公開）	道路境界の確定箇所をホームページに公開する（令和2年度中）	—	10,702	—	路政課

重点戦略7. 未来へと引き継がれる「オリンピック・パラリンピック・レガシー」の創出

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
国際交流ボランティアリーダーの育成	国際交流活動に参加する市民の裾野が広がるよう、未来を担う青少年に海外への興味を喚起し、より国際的な視点を育成するとともに、来業者受け入れ態勢を強化するため、国際交流ボランティアリーダーの発掘・育成を進める。	<スキルアップ講座> 英語（一般）：5回×2講座述べ47人 英語（高校生）：5回×1講座述べ19人 中国語：5回×1講座述べ18人 <フォローアップ講座> 2回実施、延べ約100人 <リーダー会議> 講義、会議等を計6回実施	<フォローアップ講座> 2回実施、延べ51人が受講（第1回35人、第2回16人） 第1回：11月16日（土）10:00～12:00 英語対象 第2回：11月16日（土）14:00～16:00 中国語対象 <リーダー会議> 通訳の実践、外部講師を招聘した講習、情報交換等を計5回実施	<リーダー会議> 通訳の実践、外部講師を招聘した講習、情報交換等を計5回実施 ※フォローアップ講座は平成31年度で終了	438	238	国際交流課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略7. 未来へと引き継がれる「オリンピック・パラリンピック・レガシー」の創出

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
姉妹・友好都市との交流推進	姉妹・友好都市と経済・観光・文化などの分野において、より発展的な関係を築くため、引き続き交流事業を行う。	・青少年交流事業	・アスンシオン市公式訪問団派遣 ・ノースバンクーバー市姉妹都市提携50周年記念イベント出席 ・青少年交流事業	・アスンシオン市との青少年交流（市制100周年・姉妹都市提携50周年）	12,765	9,332	国際交流課
機運の醸成に向けた取組み	大会開催機運の醸成のため、JR海浜幕張駅から幕張メッセまでの観客動線ルートの装飾を行うとともに、イベントなどを実施する。	【各種イベント】 ・オリンピック・パラリンピック2年前イベントの開催等 ・大会500日前イベントの開催 等 【各種PR活動】 ・ラッピング車両の運行（千葉都市モノレール） ・本庁舎等への懸垂幕の掲出 等	【各種イベント】 ・オリンピック・パラリンピック1年前イベントの開催 2日間実施 約26,500人参加 ・東京2020大会競技体験会 1日実施 約1,700人参加 等 【各種PR活動】 ・シティ装飾の実施 （JR千葉駅東口駅前広場、海浜幕張駅周辺、JR千葉駅・千葉都市モノレール千葉駅連絡通路等） ・プロモーション動画の放映 （JR千葉駅、JR海浜幕張駅等） 等 【機運醸成等活動事業補助制度】 ・大会の機運醸成等につながる市民団体や学生団体の活動への補助 10団体 合計2,086千円	【各種イベント】 ・大会機運醸成イベント 等 【各種PR活動】 ・ラストマイル等装飾の実施 ・プロモーション動画の放映 （JR千葉駅、JR海浜幕張駅等） 等 【機運醸成等活動事業補助制度】 ・東京2020大会の機運醸成等につながる市民団体や学生団体の活動への補助 5団体×300千円	46,326	96,980	オリンピック・パラリンピック振興課
ボランティア体制の構築	東京2020大会に向け、都市ボランティアを育成する。また、大会のレガシーとしてのボランティア文化醸成のため、市民のボランティア活動を支援する体制を強化する。	・都市ボランティアリーダー候補者約120人の育成 ・都市ボランティア1,700人の募集 ・市立中学・高校（中学校25校、高校1校）向け都市ボランティア公開講座の実施（約4,000人参加） ・外国人おもてなし語学ボランティア育成講座を実施（受講者数448人）	・都市ボランティア約1,700人の育成(研修及び国際大会での実地活動) ・市立中学校・高校向け都市ボランティア公開講座の実施 ・チーム千葉ボランティアネットワークにおけるボランティア募集情報やイベント情報の提供及び自主企画の実施	【都市ボランティア運営】 ・都市ボランティアへのメルマガ配信 ・実地研修（活動エリアの現地確認）の実施 【チーム千葉ボランティアネットワーク運営】 ・ボランティア募集情報、イベント情報の提供 ・自主企画の実施 ・都市ボランティアからの参加促進	28,305	118,002	オリンピック・パラリンピック振興課
【完了】 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた多言語対応	幕張新都心地区内の案内看板の多言語化やピクトグラムのJIS規格への統一を図る。	・幕張新都心地区案内看板の改修 矢羽式案内看板・・・90枚×2＝180枚 地図付き案内サイン・・・16枚 案内サイン（縦型）・・・62枚 ・QRコードを活用したわかりやすい多言語案内サイトの構築	・幕張新都心地区案内看板・・・供用開始 ・QRコードによる多言語案内・・・運用開始		—	—	オリンピック・パラリンピック調整課
スポーツ大会・イベントの誘致の推進	スポーツ振興や地域活性化を図るため、スポーツ大会やイベントの誘致及び開催支援を行う。	35の全国規模の大会開催支援	全国規模の大会開催支援 25大会（2月4日現在）	引き続き、全国規模の大会の誘致をするほか、市内開催される全国規模の大会の後援を行うことで開催を支援する。	—	—	スポーツ振興課
トップスポーツとの連携の推進	市内のトップスポーツチームやトップアスリートによる社会貢献活動を推進するため、チーム等と市民ニーズのコーディネートを推進する。	34校	35校	令和元年度開催校数と同程度の学校訪問事業を実施する。	90	90	スポーツ振興課
MICEの推進（再掲）	本市には、多数のMICE施設、研究・教育機関、企業等が立地しており、MICE開催地としての強みを生かし、市内開催会議の支援や都市の魅力を発信することによりMICEの誘致を促進し、地域経済の活性化を図る。	国際会議を積極的に市内へ誘致し、国際観光の振興、地域経済の活性化などを図るため、開催経費の一部を助成するとともに、MICE関係者へのPR活動を行うほか、大規模MICE開催支援や大規模イベント開催に合わせた賑わいを創出する。	国際会議開催補助金による支援 1件 MICE開催補助金による支援 0件 大規模コンベンション開催補助金による支援 0件 国際会議や大規模イベント等開催時の主催者ニーズに応じたアフターコンベンション充実への支援 2件 MICE開催による効果測定調査実施	国際会議開催補助金による支援 3件 MICE開催補助金による支援 1件 大規模コンベンション開催補助金による支援 1件 国際会議や大規模イベント等開催時の主催者ニーズに応じたアフターコンベンション充実への支援 4件 オリパラを活用したおもてなし観光発信	125,975	35,567	観光MICE企画課
訪日外国人受入環境整備（再掲）	今後拡大が予想される東南アジアをはじめとする訪日観光客のインバウンド需要を取り込むため、外国の多様な文化や風習、ハラルやベジタリアンなどの食習慣に対応できるおもてなし体制を官民連携して整え、それらの周知を図るために効果的な情報発信を行う。（「おもてなしダイバーシティ」戦略）	本市がターゲットとしているマレーシア、台湾からの訪日外国人客を誘致するため、そして2020年東京五輪開催にむけて多様な文化を持つ外国人客を受け入れるためにムスリムだけでなく、ベジタリアン等にも対応できる「食のダイバーシティ」を新たな目標と掲げ、「おもてなしダイバーシティ」戦略を推進する。	【食のダイバーシティ対応の促進】 ・ムスリムおもてなしマップの更新：1回 ・ムスリム対応事業者の増加 飲食店5店舗（H28）→29店舗（R元） ホテル1軒（H28）→4件（R元） 美容室0店舗（H28）→6店舗（R元） ・マレーシア留学生スポーツ大会の開催誘致、PR活用 【千葉おもてなしSHOPガイド（多言語対応の促進）】 ・クーポン機能の搭載 【外国人向け観光ボランティアガイドの養成・活用】 ・合計102名養成完了（H29～H31の合計） ・活躍機会の創出	【食のダイバーシティ対応の促進】 ・ムスリムおもてなしマップの作成（更新）（年1回） ・マップ掲載店舗への来客数増加を図るプロモーション ・ムスリム対応、ベジタリアン対応事業者の増加 ・マレーシア留学生スポーツ大会の開催誘致、PR活用 【千葉おもてなしSHOPガイド（多言語対応の促進）】 ・登録支援 ・広域連携PR 【外国人向け観光ボランティアガイドの養成・活用】 ・合計100名養成完了 ・活躍機会の創出	6,155	6,902	観光プロモーション課
花いっぱい市民活動の推進	大会を機に訪れる多くの来訪者を花でお迎えし、おもてなしの一環として都市イメージを向上させる。	花苗助成 473団体	花苗助成 475団体	花苗助成 477団体	11,201	11,781	緑政課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略7. 未来へと引き継がれる「オリンピック・パラリンピック・レガシー」の創出

（単位：千円）

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
オリパラ教育の推進	大会機運の高揚やスポーツ文化の普及発展等のため、国際理解教育の推進や障害者スポーツの授業化等、学校教育において各種取組みを実施する。	・全小中学校でバラスポーツを実施するとともに、全中学校でバラスポーツを教材とした体育理論の授業を実施する。（保健体育課） ・オリパラ学習読本を使用した学習を進める。 ・道徳教育用副教材作成（小学校高学年用40冊/校）及び活用 ・英語副教材の活用 ・参加国について、総合的な学習の時間を中心に調べていく。（教育指導課）	【企画課】 ・授業におけるバラスポーツの実施 ・バラスポーツの試合観戦 ・記念陸上大会の開催 ・オリンピック・パラリンピック応援作品の制作 【教育指導課】 ・オリパラ学習読本を使用した学習を進める。 ・道徳教育用副教材作成（中学校用40冊/校）及び活用 ・英語副教材の活用 ・参加国について、総合的な学習の時間を中心に調べていく。	【企画課】 ・授業におけるバラスポーツの実施 ・パラリンピック試合観戦 ・記念陸上大会の開催 ・オリンピック・パラリンピック応援作品の制作 ・オリパラ学習読本を使用した学習を進める。 ・バラスポーツ交流会 【教育指導課】 ・道徳教育用副教材作成（中学校用40冊/校）及び活用 ・オリパラ英語教材を活用した外国語・外国語活動の充実 ・参加国について、総合的な学習の時間を中心に調べていく。	【企画課】 10,148 【教育指導課】 540	【企画課】 80530 【教育指導課】 0	企画課 教育改革推進課
シェアリングエコノミーの研究・活用	高度化・複雑化する地域課題の解決の一手法として、シェアリングエコノミーの研究や活用を進めていく	・シェアリングエコノミーの研究・活用の推進 ・各種シェアリングエコノミー実施事業の推進	・シェアリングエコノミーの研究・活用の推進 ・各種シェアリングエコノミー実施事業の推進	・シェアリングエコノミーの研究・活用の推進 ・各種シェアリングエコノミー実施事業の推進	11,300	15,000	国家戦略特区推進課
スポーツ協会補助	本市のスポーツ活動の振興を目的に設置された外郭団体であり、当該財団の管理運営に関する経費の一部を補助することにより、本市のスポーツ振興に寄与するとともに、市民のスポーツに対する意識・関心を高め、健康づくりの普及啓発を図るスポーツ教室や競技会の開催、スポーツ情報の収集と提供などの各種事業を実施する。	1 入門スポーツ教室 21種目63教室 2 健康づくりスポーツ教室 20教室 3 みんなのスポーツちば 年4回発行 4 障害者スポーツ指導員養成事業 講習会の開催 5 海洋スポーツ教室 37教室 など	千葉市体育協会との統合に伴い、左記事業に加え、ジュニア育成競技力向上事業、ジュニアスポーツ指導者講習会、ジュニア育成プログラム、中級スポーツ教室など、これまで本市で実施していないジュニアの育成を主とした事業を開始する。	昨年開始した新規事業は継続して実施予定。オリンピック・パラリンピック後に継続する事業のうち、スポーツ協会に移管すべき事業の有無を検討する。	191,458	190,755	スポーツ振興課
新たな文化プログラムの実施（千の葉の芸術祭）	本市の自然や歴史に根差した固有の地域資源などを活かし、多様な表現により広く発信する芸術祭を開催する。	—	事業実施に向けた検討と事業の実施	新型コロナウイルスの感染拡大、東京2020大会の延期等の状況を踏まえ、「千の葉の芸術祭」は、開催を延期することとした。新たな日程は、東京2020大会の延期後の開催期間を目的に調整を進める。	24,490	142,000	文化振興課
【完了】国際大会の支援	幕張メッセ開催競技の機運を高めるため、市内で開催される国際大会を支援する。	—	6月 アジアフェンシング選手権大会2019 9月 千葉2019ワールドテコンドーグランプリ 12月 2019 I B S A ゴールボールアジアパシフィック選手権大会in千葉	—	38,274	—	オリンピック・パラリンピック調整課

（単位：千円）

施策（2）パラリンピックを通じた共生社会の実現

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
バラスポーツの推進	バラスポーツの体験や大会観戦等を通じて、障害者や競技への理解を深める取組を行い、大会観戦者を増やし、バラスポーツファンの拡大を図るとともに、障害者のスポーツ活動への参加促進や継続的な活動を支援して、誰もがスポーツを楽しむことができる共生社会の実現を目指す。	①バラスポーツ大会応援イベント（2回） ②市内で行った予定の大会の支援 ・ジャパンパラゴールボール競技大会（H31.2） ・長谷川良信記念千葉市長杯争奪車いすバスケットボール全国選抜大会（H31.3） ③障害者アスリートによる学校訪問（50校） ④バラスポーツフェスタちば（H30.9.8） ⑤バラスポーツ体験会（区民まつり・わくわくヘルスアップ） ⑥障害者とその家族を対象としたスポーツ体験会 ⑦大学連携によるバラスポーツ交流会・講座 ⑧海外障害者アスリート学校訪問 ⑨市民大会に向けた講習会（ポッチャ）	①バラスポーツ大会応援イベント（2回） ②市内で行う予定の大会の支援 ・シッティングバレーボールチャレンジマッチ(R1.5) ・ジャパンパラゴールボール競技大会（R1.9） ・ゴールボールアジアパシフィック選手権大会（R1.12） ・日本障がい者バドミントン選手権大会(R1.12) ・車いすラグビー日本選手権(R1.12) ※長谷川良信記念千葉市長杯争奪車いすバスケットボール全国選抜大会（R2.3）は中止 ③障害者アスリートによる学校訪問（47校） ④バラスポーツフェスタちば（R1.8.31予定） ⑤バラスポーツ体験会（区民まつり）（5区） ⑥障害者とその家族を対象としたスポーツ体験会(9回) ⑦大学連携によるバラスポーツ交流会（4大学）・講座（8大学） ⑧ちばしバラスポーツコンシェルジュ（R1.7.31～） ⑨海外障害者アスリート学校訪問（R1.5.21） ⑩市民大会に向けた講習会（ポッチャ）（6区）	①バラスポーツ大会応援イベント（3回） ②市内で行う予定の大会の支援 ・車いすラグビー日本選手権(R3.1) ・長谷川良信記念千葉市長杯争奪車いすバスケットボール全国選抜大会（R3.3） ③障害者アスリートによる学校訪問（20校） ④バラスポーツフェスタちば（R2.11） ⑤バラスポーツ体験会（区民まつり） ⑥障害者とその家族を対象としたスポーツ体験会（10回） ⑦大学連携によるバラスポーツ交流会（5大学）・講座（9大学） ⑧ちばしバラスポーツコンシェルジュの運営 ⑨海外障害者アスリート学校訪問→実施せず ⑩市民大会に向けた講習会（ポッチャ）→実施せず ⑪バラスポーツ振興補助金 ⑫ポッチャ市民大会（R3.2）	50,644	60,829	オリンピック・パラリンピック調整課

■地方創生の取組み一覧（令和元年度）

参考資料1

重点戦略7. 未来へと引き継がれる「オリンピック・パラリンピック・レガシー」の創出

(単位：千円)

事業名	事業の概要	平成30年度の実績	令和元年度の取組み	令和2年度の予定	R1決算見込み	R2予算	所管課
子バリアフリーアートプロジェクト	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化芸術の取り組みとして、障害者も健常者も一緒になって表現するファッションショーとダンスパフォーマンスなどのイベントを、東京2020公認文化オリンピアドとして開催する。	<p>チバフリ2019実施（会場：イオンモール幕張新都心）</p> <p>①アート展：平成31年1月31日～2月3日</p> <p>②ファッションショー・手話パフォーマンス等：平成31年2月3日</p> <p>③音楽ライブ：平成31年2月3日</p> <p>④ポッチャ体験、ちぎり絵体験：平成31年2月3日</p> <p>①～④：来場者 約2,250人、参加スタッフ 89人、出演者 67人</p>	イオンモール幕張新都心グランドコートでファッションショー、ダンスパフォーマンス、手話パフォーマンスなどを1日で2回実施。（実施日：アート展示1/30～2/2、音楽ライブ2/1・2/2、ステージイベント2/2）	<p>子バリアフリーアートプロジェクトVol.4チバフリ実施（会場：イオンモール幕張新都心）</p> <p>①アート展：令和2年1月30日～2月2日</p> <p>②音楽ライブ：令和2年2月1日～2月2日</p> <p>③ファッションショー・手話パフォーマンス等：令和2年2月2日</p> <p>④ポッチャ体験、ドミノアート体験：令和2年2月2日</p> <p>①～④：来場者 約2,000人、参加スタッフ 116人、出演者 48人</p>	5,022	6,000	文化振興課
パラスポーツ競技用具整備	地域で障害者スポーツ（車椅子バスケットボール、ゴールボールなど）を楽しめる機会を創出するため、競技用具の整備を行う。	<p>ポッチャ一式 4セット</p> <p>ゴールボール用ボール 7個</p> <p>競技用車いす 6台×5区</p>	<p>ポッチャセット 17セット</p> <p>ポッチャコート 17枚</p>	<p>障害者スポーツが盛んな障害者福祉センターと療育センターから要望のあった卓球台を整備する。</p> <p>車いす卓球台 5台</p> <p>卓球台 2台</p>	2,176	1,540	スポーツ振興課
障害者理解の促進（再掲）	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、障害及び障害者への理解を促進するため、市内小学校で障害者自らの体験を語る講話やパラスポーツなどの体験学習会を実施する（福祉講話）。	40校で実施。	38校で実施	40校で実施予定。	628	656	障害者自立支援課
東京2020大会に向けたバリアフリー化の推進	駅から会場までの歩道の段差解消やエレベーター設置などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場の整備</li> <li>支障物移設工事、分電盤設置工事</li> <li>アクセスルートの整備</li> <li>視覚障害者誘導用ブロック設置L=3.0km、歩道の段差解消N=24箇所</li> <li>歩行者向け案内サインの整備</li> <li>英語表記改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場の整備</li> <li>エレベーター1基、エスカレーター上り下り各1基、シェルター一式</li> <li>アクセスルートの整備</li> <li>視覚障害者誘導用ブロック設置L=2.1km、歩道の段差解消N=34箇所</li> <li>区画線の引き直し 一式</li> <li>英語表記改善 一式</li> </ul>	駅前広場に身体障害者用乗降場を増設予定。	565,594	60,000	土木保全課
【廃止】 メディア芸術振興	東京2020大会に向けた機運醸成を図るため、メディアアートとスポーツ用車椅子の試乗体験を融合させた「PLAY THE WHEELS」を出展します。	パラリンピック2年前イベントに出展	千葉県、千葉市、みんなで応援！千葉県経済団体協議会、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会主催のオリパラ開催1年前記念イベントに平成27年に実施した「PLAY THE WHEELS 音をかなでるクルマイス」の再演した。	イベントそのものがなくなったため終了	2,000	—	文化振興課